

2024年度版

# 研究シーズ集

SEEDS FOR RESEARCH & INNOVATION



芸術文化観光専門職大学  
Professional College of Arts and Tourism

地域リサーチ&イノベーションセンター  
R I C (Research & Innovation Center)

## ◆ 2024年度研究シーズ集発刊に際して



地域リサーチ&イノベーションセンター長 川目 俊哉

本年度、本学は4年生までの全学年が揃う、新たな大学・学部に対して言うところの「完成年度」を迎えることとなりました。2021年春の地域リサーチ&イノベーションセンター（略称RIC）の稼働から3年が経過し、2023年度には、前年度より7プロジェクト多い、これまで最多の37のRICプロジェクトを行うことができました。みなさまの抱えていらっしゃる問題、課題の解決に本学の教員、学生とご一緒させていただきましたことに深く感謝申し上げます。

2023年度は従来通り地元自治体からの受託はもちろんですが、民間組織との問題解決も重点的なテーマとして置き、11者のみなさまとの間で12のRICプロジェクトを行うことができたことにも触れておかなければなりません。但馬の地元産業界をはじめ、国連機関との難民問題に関わるプロジェクトや発展途上国の観光行政官へのプログラム提供といったまさにグローバルな取り組みとなりました。

この研究シーズ集では、本学のソフトそのものである教員の研究分野を紹介しています。ご覧いただきまして、さまざまな問題、課題にご一緒に取り組むべく、お気軽にお問い合わせいただければ幸いです。

また、プロジェクトに学生が参加できるステューデントアシスタント制度により、教員の専門的な知見とともに、学生ならではの視点、見方もお役に立てることがあるものと思います。

冒頭に書きましたように、本学は形の上での「完成年度」を迎えますが、言うまでもなく大学にも地域にも「完成」というゴールはありません。「完成年度」を超えて、息長くこの但馬を豊かな地にすべく取り組んでいく所存です。今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 舞台芸術

平田	オリザ	-----	04
木田	真理子	-----	05
杉山	至	-----	06
石井	路子	-----	07
児玉	北斗	-----	08
平田	知之	-----	09
深澤	南土実	-----	10
山内	健司	-----	11
岡元	ひかる	-----	12
河村	竜也	-----	13
田上	豊	-----	14

学長 HIRATA ORIZA  
平田 オリザ



■キーワード 日本の劇作家、演出家、現代口語演劇理論の提唱者

劇作家、演出家、劇団「青年団」主宰 他  
江原河畔劇場芸術総監督、戯曲の代表作に『東京ノート』、小説『幕が上がる』

■教育研究

- ・担当科目：コミュニケーション演習、芸術文化と観光、演劇入門
- ・RIC PROJECT：高校コミュニケーションWS、豊岡市ジュニアプレカレッジ

・専門領域（2023年度実績抜粋）

\* 著作(2023発刊)

- ・『但馬日記 演劇は町を変えたか』岩波書店（9/12発刊）
- ・100分で名著 中江兆民『三酔人経論問答』NHK出版（11/25発刊）

\* 作品上演等（下記ほか6件）

- ・常磐線舞台芸術祭公演『銀河鉄道の夜』作・演出（8/1・2 福島県いわき市立勿来文化会館）、『思い出せない夢のいくつか』作・演出『阿房列車』（8/10～12 レインシアター）
- ・庄司紗矢香/豊岡演劇祭2023ディレクターズプログラム『音楽と言葉の旅「ふるさと」』作・演出（9/16 豊岡市民会館 文化ホール）
- ・芸術文化観光専門職大学×リオン国立舞台芸術技術学校/豊岡演劇祭2023ディレクターズプログラム『私はかもめ』作（9/22～24 芸術文化観光専門職大学 静思堂シアター）※ 9/28～10/3 リオン国立舞台芸術技術学校でも上演

\* 講演、配信、学会発表等（下記ほか31件）

- ・兵庫県小児科医会設立40周年記念講演（11/11 神戸ホテルオークラ）
- ・近畿公立文化施設研修シンポジウム講演（12/15 西宮市芸術文化センター）
- ・大学コンソーシアム京都SDフォーラム講演（3/25 同志社大学今出川キャンパス）

\* ワークショップ・講義等（下記ほか33件）

- ・秋田公立美術大学特別講義（7/9 秋田公立美術大学）
- ・日本航空社内研修ワークショップ（10/13 日本航空本社内）
- ・埼玉県富士見市職員研修ワークショップ（11/17 富士見市民文化会館）
- ・青翔開智中学校・高等学校教員研修ワークショップ（2/4 鳥取県鳥取市）
- ・いのちの電話プロジェクト公開講座「対話のススメ」（2/17 愛媛県松山市）

\* 兵庫県豊岡市内実施

- ・豊岡市「劇の学校」中高生対象ワークショップ（7/17 豊岡市民プラザ）
- ・県立日高高校ワークショップ授業（9/8）
- ・城崎小学校モデル授業（10/25、12/13）
- ・日高小学校モデル授業（11/15）

\* 小中学校コミュニケーション教育ワークショップ授業

- ・大阪府枚方市（6～翌1月 楠葉南小学校ほか11校）
- ・京都府与謝野町・伊根町（10～12月 山田小学校ほか4校）
- ・福岡県大牟田市（10/10、2/22 中友小学校）

■アピールポイント

『東京ノート』第39回岸田國土戯曲賞受賞  
『月の岬』で読売演劇大賞優秀演出家賞  
『上野動物園再々々襲撃』読売演劇優秀作品賞  
『その河をこえて、五月』で朝日舞台芸術賞グランプリ  
『演劇1』『演劇2』が釜山国際映画祭でワールド・プレミア  
『日本文学盛衰史』で第22回鶴屋南北戯曲賞受賞 他 受賞多数



豊岡市「劇の学校」中高生対象演劇ワークショップ（提供:NPO法人ブラッツ）



豊岡市「劇の学校」中高生対象演劇ワークショップ（提供:NPO法人ブラッツ）



コミュニケーション演習



コミュニケーション演習

KIDA MARIKO  
准教授 木田 真理子 m\_kida@stdat.at-hyogo.ac.jp



## キーワード：

身体感覚、コミュニケーション、ダンス、空間と身体の相互作用  
情動、記憶、荒川修作+マドリン・ギンズ

本学委嘱委員：教務委員

## 担当科目：

身体コミュニケーション実習、ダンスワークショップ実習A、ダンスワークショップ実習C、  
舞台芸術実習、演技論、専門演習、総合演習

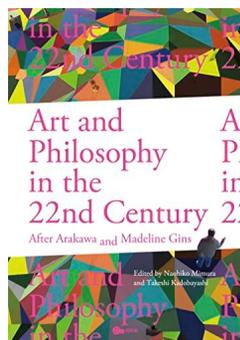


## 共著：

- ・『22世紀の荒川修作+マドリン・ギンズ』フィルムアート社, 2019
- ・『Art and Philosophy in the 22<sup>nd</sup> Century: After Arakawa and Madeline Gins』ratik, 2023

## 共同研究・競争的資金等の研究課題：

- ・日本学術振興会 科研費（基盤研究C）代表「せめぎ合いから立ち上がる身体の人類学研究ーダンス作品の創作現場から」2023年4月～2027年3月
- ・関西大学研究拠点形成支援経費採択課題 分担「空間と身体感覚の相互作用にもとづく空間デザインの研究ー荒川修作+マドリン・ギンズ「手続き型建築」の形態を探る」2023年4月～2025年3月



## 地域貢献・社会貢献

- ・2019年～2022年 中高生のための「劇場の学校」プロジェクト舞踊コース講師（公益財団法人 京都市音楽芸術文化振興財団/ ロームシアター京都）
- ・2020年 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン（Save the Children Japan）「日本/子どもの虐待防止」メッセージ発信
- ・2021年「箕面船場における文化芸術国際交流のまちづくりシンポジウム」パネリスト（大阪府箕面市、大阪大学外国語学部、箕面市メイプル文化財団、箕面市国際交流協会）
- ・2021年アートについて考えるドキュメンタリー映画「アートなんかいらない！」（山岡信貴監督、リタピクチャル）インタビュー出演
- ・2023年「パフォーマンスキッズ・トーキョー」プロジェクト、『○これなんだ』空間演出アドバイザー（特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち、公益財団法人 東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、公益財団法人 新宿未来創造財団）
- ・2024年 山梨県立美術館VR展示企画シリーズ『LABONCHI』第2弾「まだ解けていないほうの山梨県議」美術家・雨宮庸介VR展示作品、振付アドバイザー（山梨県立美術館）



SUGIYAMA ITARU

准教授 杉山 至



■ キーワード 舞台芸術、舞台美術、セノグラフィー  
セノグラフィーを活用したワークショップやパフォーマンスの開催、文化資源や地域伝承等を生かした芸術の視点からの地域活性化、コミュニケーション・デザインによる地域のリブランディング

■ 教育研究

- ・担当科目： コミュニケーション演習、舞台芸術実習A～D、舞台芸術基礎実習、舞台芸術入門、空間デザイン入門、舞台美術論、劇場文化と舞台技術
- ・学内委嘱委員： 劇場運営委員会、キャリアサポートセンター

・専門領域

- 1.国内外での舞台芸術作品におけるセノグラフィー（舞台美術）デザイン。
- 2.セノグラフィー（舞台美術とランドスケープの複合）ワークショップの開催と文化資源を活用したパフォーマンスやイベント等のデザインプランニング。
- 3.地域に残存する舞台芸術に関わる文化的文脈を持つ事柄のリサーチと作品づくり。



あさご芸術の森「光と風のページェント」オブジェ設営風景



愛知県豊田市「豊田演劇ファクトリー シニアワークショップ@足助」



北九州芸術劇場クリエーション「イエ系」舞台美術デザイン



劇団俳優座公演「閻魔の王宮」にて「第11回悲劇喜劇賞」受賞・舞台美術デザイン担当

■ 地域貢献・社会貢献

RIC PROJECT：あさごの森美術館キャンドルイベント事業。  
北九州芸術劇場クリエーション作品「イエ系」舞台美術ワークショップと舞台美術デザイン。  
岡山芸術劇場ハレノワ高校生クリエーション事業にて舞台美術ワークショップ開催。  
第11回ハヤカワ「悲劇喜劇賞」を劇団俳優座「閻魔の王宮」で受賞。

■ アピールポイント

2023年度地域との交流行事での実績

- ・あさご芸術の森美術館「光と風のページェント2023」に学生と共にアート作品で参加。
- ・セノグラフィーや舞台美術が得意とするコミュニケーション・デザインの手法で地域の問題等をリサーチし、解決する方法を探る、等。

講師 ISHII MICHICO  
石井 路子



- キーワード 演劇教育、表現教育、コミュニティダンス  
教員への表現教育ワークショップ、高等学校への表現ワークショップ（実習）

■ 教育研究

- ・担当科目：コミュニケーション演習、芸術文化・観光プロジェクト実習、演劇ワークショップ実習、舞台芸術基礎実習、舞台芸術実習、演劇教育入門、演劇教育論
- ・本学委嘱委員：学生生活委員会委員、R&Iセンター委員
- ・RIC PROJECT：高校コミュニケーションWS,「鉱石の道」活用促進プロジェクト

専門領域

- ・学校教育における表現教育の実践・カリキュラム研究
- ・表現教育科目履修生の実習として、但馬地域高等学校への表現ワークショップ授業の実施
- ・身体表現・ボディワーク、セルフ・ナラティブ作品創作、高校演劇作品創作
- ・コミュニティダンス：但馬地域フラッシュモブ企画



高校生が生きやすくなるための演劇教育  
2017/5 いしいみちこ(著)



追手門学院高校表現コミュニケーションコース



高校3年生 WSデザイン実習



但馬地域フラッシュモブ企画 但馬空港促進事業



高校1年生 自画像公演

■ アピールポイント

高校教諭として約20年ほど表現教育を実践してまいりました。目的は、所属コミュニティにおいて人と人をつなぐことのできる人材を育てること。芸術文化は娯楽をイメージされることが多いですが、芸術文化、表現は、本来人間にとってなくてはならないもの。芸術文化の力を知り、地域や社会のためにその力を駆使できる人を育ててまいります。互いに影響し合っている心と身体の関係について知ることは、自分自身と向き合うことです。そして、身体を通して他者を想像することが、他者や人間を理解することにつながります。自身を考えていく機会を提供してまいりたいと考えています。

講師 KODAMA HOKUTO  
**児玉 北斗**



■キーワード 振付（コレオグラフィー）、舞踊美学、パフォーマンス研究  
 身体コミュニケーションワークショップやダンス作品の創作

■教育研究

- ・担当科目：パフォーマンス概論、身体コミュニケーション実習、ダンスワークショップ実習、舞台芸術基礎実習、舞台芸術実習、身体表現論、舞台芸術論
- ・本学委嘱委員：教務委員会、学術情報委員会

・専門領域

ダンス作品を「振付」という観点から実践的／理論的に考察することを専門とし、振付家として『Pure Core』(2020年) 『Wound and Ground(β ver.)』(2022年)などのコンテンポラリーダンス作品を発表している他、舞踊美学の領域で「ダンス作品の存在論」をテーマに研究者としても活動している。

2021～22年度 穂の国とよはし芸術劇場P L A T「ダンス・レジデンス」滞在アーティスト

2021～23年度 Dance Box「国内ダンス留学@神戸」講師（西洋舞踊史）

2022年度 愛媛大学文学部 非常勤講師（芸術学特講）

京都芸術大学舞台芸術センター・共同研究プロジェクト「What is able-bodied?—身体表現における“健常”な体についての考察を通じたダンスの協働制作（研究代表者：田中みゆき）」、同「老いをめぐるダンスドラマトウルギー（研究代表者：中島奈那子）」研究メンバー

論文「2000年以降のダンス研究におけるネルソン・グッドマンのノーテーション理論——争点としてのオートグラフィック／アログラフィック——」『第71回美学会全国大会 若手研究者フォーラム発表報告集』美学会、2021年 ほか

・研究の実際



『Wound and Ground』(2022) Photo: Hanabi Takemiya



『Pure Core』(2020) Photo: Kim Sajik

■アピールポイント

2001年より、アルバータバレエ、レ・グランバレエ・カナディアン、ヨーテポリオペラ・ダンスカンパニー、スウェーデン王立バレエなどで国際的に活動。マッツ・エック、アレクサンダー・エックマン、ヴィム・ヴァンデケープスなど世界的な振付家の創作にて主要な役を務めた。JAPON dance projectメンバーとして2014年と2016年の新国立劇場主催公演にて振付・出演、また2017年にトーキョーワンダーサイト本郷で自身初のソロ公演『Trace(s)』、2020年12月にはTHEATRE E9 KYOTOにて『Pure Core』を発表するなど、主体・身体・権力の連関について、ダンサーとしての当事者的な問題意識を基盤とした作品を制作している。2018年、ストックホルム芸術大学修了（MFA in Choreography）。

HIRATA TOMOYUKI

講師 平田 知之

tomo3@stdat.at-hyogo.ac.jp



■ キーワード コミュニケーション教育 ファシリテーション  
演劇的手法 学力向上 国語教育 協働学習 職員研修

## ■ 教育研究

担当科目：知と表現のデザイン（アカデミックライティング）、演劇ワークショップ演習、  
演劇教育入門、演劇教育論

## ■ 専門領域

わが国の演劇的手法を活用した研修・学習活動の展開

博報堂 児童教育実践についての研究助成 2022～2023

「演劇的手法を用いたコミュニケーション教育の地域全体への展開と中期的効果検証」

科学研究費 基盤研究（C） 2024～2026

「初等中等教育の演劇関連教育の見取り図作成と教育課程への位置づけのための調査研究」

## ■ 地域貢献・社会貢献

◎現在のしごと 主に学校での学習者を主体にしたワークショップ型学習支援・研修支援

☆高等学校☆

- ① 高校コミュニケーションワークショップ コーディネーター、ファシリテーター（2021～）
- ② 県立豊岡総合高校 学校設定科目「演劇表現」講師（2023～）
- ③ 県立豊岡高校 学校評議員（2021～）

☆中学校

- ① 豊岡市中学校教育研究会支援事業 指導助言者（2023～）
- ② 兵庫県立大学附属中学校 学校設定科目「コミュニケーション」講師（2021～）
- ③ 養父市立養父中学校 国語×演劇的手法 講師（2022～）

☆専門学校 八鹿看護専門学校 非常勤講師（「人間関係論」）（2022～）

☆小学校 豊岡市立小学校「非認知能力向上事業」でのフィールドワーク研究

○過去のしごと

文部科学省「コミュニケーション教育会議」WG委員、文部科学省「ワークショップリーダー人材育成事業」運営

## ■ アピールポイント

学習を、孤独に知識を蓄積する作業から、共同体への参加体験を通じた創発へ変化させるお手伝いをします。

講師

FUKASAWA NATSUMI  
深澤 南土実



■キーワード

身体表現、バレエ・ダンスの歴史や創作の背景、パフォーマンスアートとテクノロジー

■教育研究

・担当科目

パフォーマンスアート概論、舞台芸術入門、ダンスワークショップ実習、身体コミュニケーション実習、舞台芸術実習、芸術文化・観光プロジェクト実習

・本学委嘱委員

実習支援センター委員、学術情報委員会委員

研究・教育などの実績 (主に2020年以降)

《振付・ダンス》

・東京藝術大学 AI Beethoven Online concert 《Beethoven Complex》 (2020)

・東京藝術大学 Art of Body Motion project 《The Flower of Fate》 (2022)

《単著》

『バレエ・デ・シャンゼリゼ：第二次世界大戦後フランス・バレエの出発』法政大学出版局, 2020

《論文》

・鈴木範之、阪まどか、宮崎真利子、深澤南土実「明治初期のピアノ導入の経緯を探る—幼児教育，体操教育，音楽教育，楽器産業の視点から—」『教職実践研究』第7号, pp.17-33,2023

・Shuntaro Yoshida, Natsumi Fukasawa “How Artificial Intelligence Can Shape Choreography: The Significance of Techno-Performance” Performance Paradigm 17, pp.67-86, 2022

《口頭発表》

・Natsumi Fukasawa “Practical Integration of Dance and Digital Technology in Japan.” International online conference as part of the Priority 2030 strategic academic leadership program “DIGITAL-TRANSFORMATION VS VAGANOVA’S LEGACY”,2022

・吉田駿太郎、深澤南土実「コロナ禍の日本における人工知能を用いた振付作品の創作過程とテクパフォーマンスの意義：《ベートーヴェン・コンプレックス》を事例に」舞踊学会第25回定例研究会,2022

東京藝術大学 特任助手、特任研究員、特任講師(2014-2022)、埼玉県立大学保健医療福祉学部共通教育科 非常勤講師(2020-2023)、神戸大学大学院人文学研究科 非常勤講師(2021-2022)、常磐短期大学幼児教育保育学科 非常勤講師(2022-2023)、中央学院大学現代教養学部 非常勤講師(2022-2023)、お茶の水女子大学グローバル女性リーダー育成研究機構グローバルリーダーシップ研究所 特任アソシエイトフェロー(2022-2023)、京都精華大学 身体文化演習 ゲスト講師(2024)

■社会貢献活動

『舞踊年鑑』編集委員 (2017-2019)、早稲田大学「日本舞台芸術オーラル・ヒストリー・アーカイヴ」プロジェクトメンバー (2012-2022)、親子ダンスワークショップの開催



振付・ダンス 《The Flower of Fate》 (2022)



《Beethoven Complex》 (2020)



単著  
『バレエ・デ・シャンゼリゼ：第二次世界大戦後フランス・バレエの出発』法政大学出版局(2020)

YAMAUCHI KENJI

講師 山内 健司 k-yamauchi@stdat.at-hyogo.ac.jp



■ キーワード 俳優、演技、他者理解

## ■ 教育研究

- ・担当科目：コミュニケーション演習、演劇ワークショップ実習 A・C、演技論、舞台芸術基礎実習、舞台芸術実習 A・B・C・D
- ・本学委嘱委員：劇場運営委員会、広報委員会

## ■ 専門領域

### 1. 「表現の先端を伸ばす」

俳優として、演技の実践において、表現の先端を伸ばす。リアリズムからコンテンポラリーな作品、国際共同制作まで、幅広い舞台・映像作品における演技、街や人と直接関わる劇場の外での上演作品における演技に取り組む。

### 2. 「豊かさを誰でも味わえるようにする」

私たちが話してる姿そのものが本来豊かである。その豊かさを演技の視点から発見し『体験』するワークショップやプロジェクトなどの『場作り』に取り組む。

### 3. 「演技の言葉を整理する」

すべての人にとって演技を語る言葉が近くあるために、演技をめぐる言葉の歴史的な複雑さの解消を目指し、専門的な知へのアクセスをよくする。



高校コミュニケーションWS



平成二十二年度文化庁文化交流使として全編仏語一人芝居『舌切り雀』をヨーロッパ各地の小学校で単身上演

## ■ 地域貢献・社会貢献

- ・RIC事業：但馬地域の全高校にて、コミュニケーション・ワークショップを実施。
- ・国内各地で「しゃべり言葉を調べるワークショップ」「聞き演じワークショップ」の実施。
- ・一人芝居上演などで演劇作品を身近に。

## ■ アピールポイント

どなたでも体験できる「しゃべり言葉を調べるワークショップ」「聞き演じワークショップ」を実施しています。コミュニケーションには、多様性が担保された「心理的に安全な」関係が前提として必要です。その核心部となる「他者へのリスペクト」「自分自身へのリスペクト」を俳優の演技の視点から獲得していくプログラムです。そして、話す言葉を通じて、私たちの身体に蓄積された地域の文化や時間を発見します。

OKAMOTO HIKARU  
 助教 岡元 ひかる



■ キーワード ダンス、振付、舞踏

## ■ 教育研究

**担当科目：**身体表現論、舞台芸術実習、海外実習B（ドイツ実習）、観光プロジェクト実習、舞台芸術基礎実習

**本学委嘱委員：**国際交流委員、劇場運営委員

**専門：**コンテンポラリーダンスや舞踏（Butoh）における振付・稽古の考察、舞踊美学

### 論文など

- ・「土方巽の舞踏における「危機」の実践と思想」博士論文、神戸大学大学院、2022年
- ・「TARB書評：宇野邦一『土方巽 衰弱体の思想』」、2022年（書評）
- ・「舞踏訓練「虫の歩行」における身体経験の再検討ー 土方巽の弟子・正朔の実践に注目してー」、『舞踊學』第42号、2019年

### 口頭発表など

- 2024年3月 ・「ドラマトウルク・ミーティング」 コラボレーター（企画代表者：中島那奈子）  
 オープニングシンポジウムおよび対談に登壇、WSのファシリテーターを務める
- ・アートエリアB1 開館15周年記念 鉄道芸術祭vol.0～10「リ・クリエーション2 ～展覧会の記録からはじまる未来～」クロージングイベント パネリスト
- 2023年3月 ・「従順な身体からの「解放」はいかに目指されたのかー暗黒舞踏の事例に着目してー」  
 神戸大学国際文化学研究所地域連携センター主催セミナー/神戸大学国際文化学推進  
 インスティテュート(Promis)共催「戦後日本における身体の表象ー「解放」の出発点と現在」
- 2022年10月 ・“Body without Organs” and time consciousness in dancing Butoh –A  
 case study of Yamamoto Moe’s dance in “Wings of Castle” (1978)  
 Dance Studies Association Annual Conference 2022 [Dancing Resilience:  
 Dance Studies and Activism in a Global Age]

## ■ 社会貢献

- 2024年3月 読書会イベント「ドラマトウルクミーティング プレイベント ピル・ハンセン『Performance Generating Systems in Dance: Dramaturgy, Psychology, and Performativity』を読む」  
 企画・プレゼンター
- 2023年8月 NPO法人DANCE BOX「ダンス国内留学@神戸9期」講師（日本舞踊史概論）

KAWAMURA TATSUYA

助教 河村 竜也 t\_kawamura@stdat.at-hyogo.ac.jp



■ キーワード 演劇,俳優, 舞台芸術, フェスティバル, プロデュース, アートマネジメント, 国際共同制作, 劇場文化

■ 教育研究

- ・担当科目: コミュニケーション演習、芸術文化・観光プロジェクト実習 1～4、舞台芸術基礎実習、舞台芸術実習A～D、舞台芸術入門、劇場文化と舞台技術
- ・本学委嘱委員: 実習支援センター委員、広報委員会委員、劇場運営員会委員

・研究事例

◆ 舞台

- ・【出演】「東京ノート」: 青年団、作・演出: 平田オリザ
- ・【出演】「日本文学盛衰史」: 青年団、作・演出: 平田オリザ
- ・【出演】「砂と兵隊」: 青年団国際交流プロジェクト (日仏)、作・演出: 平田オリザ
- ・【出演】「MONTAGNE/山」: 日仏共同制作 作・演出: トマ・キヤルデ
- ・【出演・プロデュース】「珈琲法要」: ホエイ、TGR札幌劇場祭大賞受賞
- ・【出演・プロデュース】「郷愁の丘ロマンピア」: ホエイ、第63回岸田國土戯曲賞最終候補 他多数

◆ 映画

- ・【出演】「歓待」、「東京人間喜劇」、「SHARING」



「珈琲法要」 ©Nagare Tanaka

舞台【出演・プロデュース】ホエイ「珈琲法要」

舞台【出演・プロデュース】ホエイ「郷愁の丘ロマンピア」



©igaki photo studio

舞台【出演】「MONTAGNE/山」: 日仏共同制作



「ジェファソンの東」

映画「歓待」出演 深田晃司監督

映画「ジェファソンの東」出演 深田晃司監督



豊岡演劇祭 プロデュース

■ 地域貢献・社会貢献

豊岡演劇祭のプロデュース、KDDIとの高精度GNSS測位による音声ARを活用した音声ARオーディオガイド造成事業、新規就農希望者に訴求するブランディングムービー作成業務、JR西日本観光列車「うみやまむすび」演劇列車を活用した文化観光コンテンツの造成事業、JICA発展途上国向け訪日研修における協力事業

■ アピールポイント

豊岡演劇祭のプロデュース業務、舞台芸術作品の制作（国際共同制作含む）業務の実績

TANOUE YUTAKA  
 助教 田上 豊 y-tanoue@stdat.at-hyogo.ac.jp



■キーワード 劇作、演出、創作、演劇ワークショップ、地域連携、演劇教育

■教育研究

- ・担当科目：コミュニケーション演習、演劇ワークショップ実習A～D、舞台芸術実習A～D、芸術文化・観光プロジェクト実習1～2、舞台芸術基礎実習
- ・本学委嘱委員：R&Iセンター委員、劇場運営委員、ハラスメント委員
- ・RIC PROJECT：但馬地区高大連携コミュニケーションWS、養父市名草神社保存修理工事完成式イベント、小規模特認校活性化事業、市役所職員向け新人研修、豊岡市ジュニアプレッジ（特別支援学校WS）第3の居場所づくり事業、芸術鑑賞会用演目創出事業、近隣県中高対象コミュニケーションWS、など



小規模特認校活性化事業

■専門領域

1. 演劇関連

- (1) WSプログラム開発：表現ワークショップ、芸術×他業種ワークショップのプログラム開発
- (2) ファシリテーター育成：ファシリテーションの研究と研鑽、リテラシー向上のための研修
- (3) 芸術鑑賞会用演目創出：Tajima Youth Theater（タジマユースシアター）「Q学」など
- (4) 芸術×観光：芸術と観光の融合演目やWSの開発、架橋共同研究と展開
- (5) 演劇教育：演劇教育研究、但馬地域における演劇教育の普及と実施内容の研究

2. 地域連携

- (1) 創作活動：多角的な表現活動（WSや創作を起点とした）の場と機会の創出
- (2) 地域とのマッチング：教育機関や地方自治体、企業との共同イベントやWS
- (3) アウトリーチ事業：アートプロジェクト等のディレクション、地域劇場との連携創作やWS、など



名草神社保存修理工事完成式イベント

■地域貢献・社会貢献

教職員向け研修、乳幼児親子絵本WS、たじま児童劇団、高校演劇審査員など



Tajima Youth Theater「Q学」



奈良市アートプロジェクト



観光列車×演劇



但馬と演劇教育

■アピールポイント

R5年度は、実習科目（舞台芸術実習）で創作したユース向け演目を上演した。奈良市主催のアートプロジェクトのディレクターを務め、市民参加型のオリジナル演劇を創作。豊岡演劇祭2023では観光列車を利用した演劇作品を上演。全国各地で地域に根ざした演劇創作を行っている。その他、大学が行う高大連携プロジェクトに参画している。一般財団法人地域創造リージョナルシアターシリーズ派遣アーティスト、奈良市アートプロジェクト舞台芸術部門ディレクター、富士見市民文化会館キラリふじみ芸術監督（2019～2021）



アートマネジメント

藤野	一夫	-----	16
熊倉	敬聡	-----	17
古賀	弥生	-----	18
尾西	教彰	-----	19
李	知映	-----	20
井原	麗奈	-----	21
小林	瑠音	-----	22
近藤	のぞみ	-----	23

FUJINO KAZUO  
教授 藤野 一夫



02

■ キーワード 文化政策、アートマネジメント、音楽文化論

条例・基本計画・ビジョン・アクションプランの策定とその評価、指定管理者の選定、仕様書作成、管理運営に対する評価等、劇場・音楽堂等の外部評価、文化振興財団の事業評価、公共文化施設の基本計画策定、自治体文化審議委員会の委員、神戸大学名誉教授、ヘルリン自由大学などドイツの多数の大学でフェローや客員教授を歴任

■ 教育研究

・担当科目：芸術文化と観光、アートマネジメント概論、パフォーミングアーツ概論、文化政策概論、芸術学、海外実習、劇場プロデュース実習、音楽文化論総合演習

・研究：著作「みんなの文化政策講義 文化的コモンズをつくるために」単著 水曜社 2022/03  
「市民がつくる社会文化 新刊ドイツの理念・運動・政策」共著 水曜社 2021/06  
「基礎自治体の文化政策 まちにアートが必要なわけ」単著 水曜社 2020/02  
「地域主権の国ドイツの文化政策」共編 著美学出版 2017/09  
「公共文化施設の公共性 運営・連携・哲学」単著 水曜社 2011/04 他

・研究事例

本学素案策定から関わっており、一般的に対応可能。文化政策領域は、ほぼ全ての支援事業に関与経験あり。文化振興条例、基本計画、ヴィジョン、アクションプランの策定とその評価、改善提案など。また、指定管理者の選定の仕様書、評価書の策定、実際の選定、および指定管理者の管理運営、事業評価など。さらに、劇場・音楽堂等の外部評価、文化振興財団の事業評価などを実施。公共文化施設の基本計画策定、自治体文化審議会の委員（座長）など。文化振興財団、アートNPOの役員も多数兼任。



図 開学記念フォーラムでの講演 2022.5

(1)文化振興条例、基本計画等の策定・共同研究

神戸市（文化創生都市宣言、同プログラム、ビジョン、新文化ホール基本計画）、明石市（条例、基本計画、審議会）、芦屋市（条例、基本計画、審議会）、豊中市（条例、基本計画、審議会）、大阪府市（条例、基本計画、審議会）、豊岡市（基本計画、新文化会館基本計画、管理運営計画）、吹田市（条例、基本計画、審議会）、東大阪市（条例、基本計画、審議会）、丹波市（基本計画、審議会）、八尾市（条例、基本計画、審議会）、京丹後市（基本計画、審議会）、横浜市・徳島県（新たな劇場管理運営計画）等

(2) アートマネジメントに関する研究等

文化・芸術を生かしたまちづくり研究会、アートマネジメントの広場(HP)



みんなの文化政策講義 文化的コモンズをつくるために

■ アピールポイント

・日本文化政策学会会長、(公財)びわ湖芸術文化財団理事、(公財)神戸市民文化振興財団理事、(公財)尼崎市文化振興財団理事、(公財)明石文化芸術創生財団評議員、日本ワーグナー協会理事、堺市文化芸術審議会会長、吹田市文化審議会委員長、八尾市芸術文化振興審議会会長、東大阪市文化芸術審議会委員、日本万博基金国際交流部門委員長、京丹後市文化芸術審議会アドバイザー、その他自治体委員、指定管理者選定・評価委員、NPO法人の理事など多数。

教授 KUMAKURA TAKA AKI  
熊倉 敬聡 kumakura@stdat.at-hyogo.ac.jp



■ キーワード 芸術学、文化実践、藝道/GEIDO研究  
芸術と社会、理論と実践のインターアクション

■ 教育研究

・担当科目：美学・芸術学（1年）、批評論・美学美術史（2年）、舞台芸術論・現代アート論・専門演習（3年）、総合演習（4年）

・研究：著作 …『GEIDO論』、『藝術2.0』、『瞑想とギフトエコミー』、『汎瞑想』、『美学特殊C』、『脱芸術／脱資本主義論』など。

・学術情報センター長  
学術情報館・情報システムの運営・管理、「パフォーミング・ライブラリー」企画の実施

・専門領域

1. 現代・近未来の創造性の研究と実践

・近代の資本主義とアートの彼方に、人類の創造性が改めて古来の文化の知恵と技（瞑想、発酵、藝道など）に源泉を汲みつつも、地球環境との新たなCo-Creationの可能性を探究する事例の調査・研究、ならびに実践。

2. 新たな学び・社会変革の場づくり

・既存の社会・教育の抱える様々な問題・弊害を解消すべく、新たなコンセプトにもとづく、“共-育”的・“共-変容”的場の創造。（「三田の家」、「Impact Hub Kyoto」など）。

3. “メタ批評”への挑戦

・近代の歴史的生産物である「Art」および「芸術」の概念と実践、ならびにその言説的営為である「批評」それ自体をメタ的視点から自己“批評”する新たな学術的挑戦。

■ 地域貢献・社会貢献

・学術情報館「パフォーミング・ライブラリー」企画

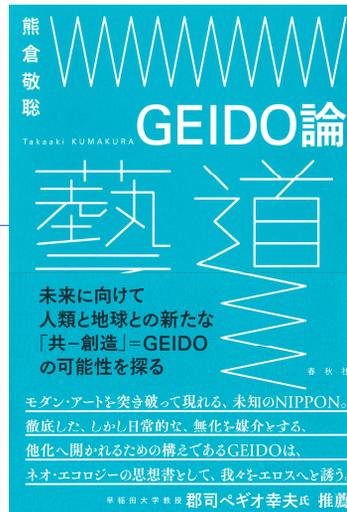
本、図書館それ自体が「パフォーム」し、社会的に「開かれる」図書館を目指すシリーズ。昨年度は、第6回「市原佐都子の劇作術に迫る：『Madama Butterfly』から『弱法師』へ」、第7回「シンポジウム《但馬を記録する、但馬を創造する》——「創造的アーカイヴ」の可能性〜いかに地域の文化資源を作品制作に活用するか〜」、第8回公募企画「ブック・ダイアログ：あなたの声で繋げるポエトリー・リーディング」を開催。

■ アピールポイント

・フランスでの博士論文『ステファヌ・マラルメの〈経済学〉』以来、私の関心は、常に芸術と社会がどのように相互に（反）作用するかにありました。そして、その関心は、現在では（藝道/GEIDOも含めた）精神性・創造性と新しい社会・経済の在り方の探究にいたっています。

ただし、私はその探究を単に理論的に行なってきただけでなく、たえず理論と実践が自分の中で累乗する形で行ってきました。コンテンポラリー・アートやダンスを研究・批評しつつ、自分でも創作したり踊ったり、あるいは、（大学を含めた）現代の教育環境について研究しつつ、新たな学びの場を作り出してきました。慶應義塾大学在任中には、学びたい者が学びたいように学ぶ「セルフ・エデュケーション」的授業の実践、さらにはそれを地域づくりと連動させた「三田の家」などの立ち上げ・運営に携わってきました。また、10年近く暮らした京都では、社会起業家の国際ネットワークの拠点 Impact Hub Kyoto を、Dojo for Changeというコンセプトで立ち上げ、運営しました。

また最近、博報堂の University of Creativity、あるいはGlobal Ecovillage Network JapanのGaia Education（ユネスコ認証教育プログラム）にも携わり、持続可能な創造性、コミュニティづくりにコミットしています。



教授 KOGA YAYOI  
**古賀 弥生** yayoikoga@stdat.at-hyogo.ac.jp



■ **キーワード** 文化政策学、アートマネジメント  
 社会包摂型の芸術体験活動に関するコーディネート、参加型芸術活動における  
 コーディネーターの育成。文化ホール等の事業企画や運営に対する地域人材の育成。  
 自治体の文化振興条例、計画、ビジョン等の策定

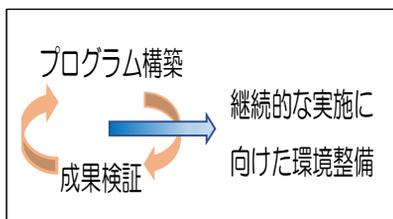
■ **教育研究**

- ・担当科目：アートマネジメント概論・文化政策概論（1年）  
 地域コミュニティ論・地域創生論・地域創生実習（2年）  
 文化政策実習・専門演習（3年）総合演習（4年予定）
- ・研究・著作：文化政策の潮流と社会包摂型文化芸術事業の実践～実践活動と政策形成の架橋に向けて～  
 （単著 九州産業大学地域共創学部『地域共創学会誌』第8号2022/03）  
 演劇ワークショップによるコミュニケーションへの影響～フリースクールでの実践事例から～  
 （共著 九州大谷研究紀要〔開学 50 周年記念号〕2022/03）  
 芸術文化と地域づくり～アートで人とまちをシェア～（単著 九州大学出版会2020/03）
- ・大学運営実績：学部長、芸術文化観光研究推進センター運営委員会、ハラスメント対策委員会ほか

■ **専門領域**

1. 社会包摂型地域社会の構築  
 への芸術文化による関与の  
 あり方に関する研究

- 1)パーキンソン病患者のダンス活動  
 の実践と成果検証
- 2)社会的処方と芸術文化活動の  
 連関に関する実践活動
- 3)演劇ワークショップ等による子育て支援、高齢者支援活動のプログラム構築



2. アートマネジメント人材養成

文化施設等における人材養成講座の企画立案に関する助言、講師等。



■ **地域貢献・社会貢献**

(2023年度実績)

- ・福岡県春日市ふれあい文化センター「アートマネジメント人材養成講座」  
 企画立案、講師
- ・（公財）福岡市文化芸術振興財団「実践型アートマネジメント講座」講師
- ・福岡県久留米市「文化芸術コーディネーター養成講座」講師
- ・兵庫県宝塚市立文化芸術センター及び庭園指定管理者選定委員会委員
- ・公立豊岡病院倫理委員会委員 ほか

(2024年度予定)

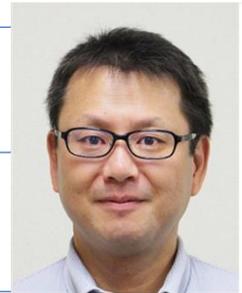
- ・養父市居場所づくり事業 演劇・ダンスワークショップ コーディネート ほか

■ **アピールポイント**

福岡で芸術文化を地域をつなぐ実践と研究を両輪として20年活動してきました。2022年4月、本学に着任。但馬でも、元行政職員、アートNPO代表の経験から、芸術文化による地域活性化、芸術文化と地域をつなぐ人材養成などのお手伝いをしたいと思っています。乳幼児から高齢者まで、すべての人に芸術文化の力を届けます。

ONISHI NORIAKI  
准教授 尾西 教彰

n\_onishi@stdat.at-hyogo.ac.jp



02

## ■キーワード アートマネジメント、文化施設、演劇学、芸能史

劇場・文化ホールの事業企画・運営、舞台芸術人材の養成、地域演劇・芸能の振興

## ■教育研究

- ・担当科目：文化施設運営論（2年）、専門演習（3年）、総合演習（4年）  
舞台芸術基礎実習（1年）、芸術文化・観光プロジェクト実習（1年・2年）  
舞台芸術実習・劇場プロデュース実習（2年・3年）、総合芸術文化実習（4年）

- ・（学内）実習支援センター長、教育課程連携協議会委員、教務委員、入試委員  
（学外）日本演劇学会企画運営委員、和歌山城ホール指定管理者選定委員会委員 ほか

### ・専門領域

- ①文化施設における社会包摂に向けた企画・運営の推進、文化資源の活用
- ②住民ニーズ、将来の地域像・必要コスト等を考慮した文化施設の有効活用、活性化の推進
- ③舞台芸術に係る知識・技術の普及・浸透による、地域の文化リーダー、豊かな地域コミュニティの創出

### 《研究活動》

- 大阪大学文学部および同大学院文学研究科の演劇学専修を修了。（修士（文学））
- ・大学生時代は古典芸能（特に能楽・狂言）の歴史・台本研究を行い、舞台出演も経験。  
〈卒業論文〉『狂言における「秘曲」の展開 - 「釣狐」の主題の変遷を巡って-』
- ・大学卒業後、兵庫県立の劇場に勤務。現場実務の経験をもとに、地域の公立文化施設における舞台芸術創造、特に人材育成事業を通じたコミュニティづくりの可能性について、社会人大学院生として研究。  
〈修士論文〉『公立劇団の活動における〈地域〉意識の変容 - 兵庫県立ピッコロ劇団の活動を通じて-』

### 《職歴》

- 平成8年7月、現・公益財団法人兵庫県芸術文化協会に入職。昭和53年開館された兵庫県立尼崎青少年創造劇場（ピッコロシアター）において、演劇教育専門員として勤務。令和4年3月退職。

### 《主な実務経験》

- 鑑賞事業、文化セミナー、市民参加型イベントなど、劇場事業全般。特に、舞台芸術の学びを通じて地域文化を支える人材の育成を目指す「ピッコロ演劇学校」（昭和58年開設）・「ピッコロ舞台技術学校」（平成4年開設）、さらに人材育成事業の集大成として設立された、全国初の県立劇団「兵庫県立ピッコロ劇団」（平成6年旗揚げ）の企画制作を中心に担当。



## ■アピールポイント

平成21年度文化庁新進芸術家海外研修制度（アートマネジメント分野）特別派遣研修員。西豪州の地方都市パスから世界的に活躍する演劇人を輩出する西豪州立舞台芸術アカデミー（The Western Australian Academy of Performing Arts）で研修。豪州における舞台芸術の創造環境・人材育成について滞在調査。卒業生の動向調査等をもとに、公立による舞台芸術教育のあり方や意義、地域振興との関わりについて研究。

講師 LEE JIYOUNG  
李 知映 jinbangul@stdat.at-hyogo.ac.jp



■キーワード 文化政策学、文化経営学、演劇学、文化資源学  
国の文化政策及び各自治体の芸術文化振興、芸術文化とまちづくり、文化施設を取り巻く社会環境、各文化施設のより良い運営

## ■教育研究

### 1. 担当科目

パフォーマンスアート概論（1年）、舞台芸術入門（2年）、世界の文化政策（2年）、韓国語（2年）、舞台芸術論（3年）、文化産業論（3年）、文化政策実習（3年）

### 2. 研究

- 1) JSPS科学研究費助成事業（若手研究）「日本における劇場産業化政策の課題」（研究代表）
- 2) JSPS科学研究費助成事業（基盤研究(B)（一般））「平成の日本の文化政策と文化政策関連研究の検証」（研究分担）
- 3) JSPS科学研究費助成事業（基盤研究(C)（一般））「東アジアにおける近代劇形成の比較研究」（研究分担）
- 4) JSPS科学研究費助成事業（基盤研究(B)（一般））「芸術文化と観光と地域ケアのリンケージ—総合文化政策によるウェルビーイングの実現」（研究分担）

### 3. 著作

- 1) 李知映「舞台芸術の産業化」、単著、松本茂章編『はじまりのアートマネジメント』、2021年3月、水曜社、202～216頁。
- 2) 李知映「芸術家の福祉政策—韓国事例を中心に」、単著、小林真理編著『文化政策の展望』、2018年4月、東京大学出版会、136～160頁。
- 3) 李知映「文化政策のパラダイム変化—創作者中心から享受者中心へ—韓国を事例に」、単著、小林真理編著『文化政策の諸相』、2018年3月、東京大学出版会、3～16頁。
- 4) 李知映「植民地朝鮮の演劇と検閲」、単著、小林真理編著『文化政策の思想』、2018年2月、東京大学出版会、19～33頁。
- 5) 李知映「小劇場演劇の真髄を知る9名の演劇人への特別インタビュー」、「32年間の公演年表」、李知映、金世一、沼上純也編著『TINY ALIE IN WONDER YEARS[1983.04-2014.03]小劇場タイニエアリスのゆりかごから』、2015年3月、芸術新聞社、他

## ■地域貢献・社会貢献

- ①平成24年4月～平成27年3月：長野県大町市「文化芸術の活性化による町づくり」計画の運営及び実施案について検討、活動アシスタント、指導教員と共に市民文化会議のファシリテーター
- ②平成25年4月～平成27年3月：埼玉県富士見市「富士見市文化芸術振興基本計画のための基本施策の策定」調査協力及びアクションプラン策定の協力、「富士見市文化芸術振興委員会」「富士見市文化芸術ワークショップ」ファシリテーター
- ③平成29年4月～平成30年3月：相模湾・三浦半島アートリンク（SaMAL = Sagami Bay and Miura Peninsula Art Link）推進会議委員
- ④平成30年6月～平成31年3月：東京都大田区「文化振興推進協議会文化施設のあり方分科会」副委員長
- ⑤平成31年4月～令和3年3月：「武蔵野市の文化を考える市民の会」委員
- ⑥令和5年9月～令和6年3月：「京丹後市万博ロードマップ検討会」委員
- ⑦令和5年9月～令和7年12月：「京丹後市大阪・関西万博推進協議会」委員
- ⑧日本文化政策学会理事、韓国地域文化政策国際理事、他

IHARA RENA  
講師 井原 麗奈



02

■ キーワード 近代文化史、文化施設の研究、アーツマネジメント  
文化施設、文化財調査

■ 教育 担当科目：アートマネジメント概論、知と表現のデザイン（1年必修）、  
文化政策概論（1年選択必修）劇場プロデュース実習（2・3年）、  
文化政策実習（3年）

### ■ 研究の概要

- 1：文化施設、文化財調査：戦前期に設置された公会堂の研究  
2-1：アーツマネジメント（音楽以外の分野）：伝統芸能、現代美術、文芸系のアーティストと連携したワーク  
ショップ、講演会、展覧会などの運営（京都芸術センター、神戸大学、静岡大学などでの実績）  
2-2：アーツマネジメント（音楽）：「有限責任事業組合アンサンブル・ラロ、ジャパン」の経営。  
[事業内容]・音楽公演の演奏請負・個人、団体に対する音楽の演奏指導・演奏家のマネジメント  
・コンサートの企画、運営、広告、宣伝、事務代行・文化・芸術に関する調査、研究、人材育成等

### ■ 研究事例

主な投稿論文・研究ノート

1. 「植民地期朝鮮の公会堂に対する支配権力の認識について－都市における設置状況と運営主体を中心に－」2013年/日本文化政策学会学会誌「文化政策研究」第6号（P.19-P.34）
2. 「大阪市中央公会堂貴賓室（特別室）の天井画・壁画の公共性に関する考察」2014年/日本アートマネジメント学会学会誌「アートマネジメント研究」第15号（P.16-P.28）
3. 「戦前期の行幸啓からみる公会堂の公共性」2015年/日本文化政策学会学会誌「文化政策研究」第8号（P.79-P.93）
4. 「公会堂と「社交」－戦前期における利用者の社会階層を視点として－」2015年/日本アートマネジメント学会学会誌「アートマネジメント研究」第16号（P.24-P.35）
5. 「公会堂にみる「公」と「私」の境界線」2015年/神戸女学院大学紀要「論集」第62巻第2号（P.41-P.59）
6. 「京都市岡崎公会堂：文化の中心としての役割について」2016年/日本文化政策学会学会誌「文化政策研究」第9号（P.84-P.97）
7. 「台湾における近代文化の保存と継承－公会堂を中心としたフィールドワークに基づいて」2017年/日本文化政策学会学会誌「文化政策研究」第10号（P.123-P.131）共著
8. 「旧小樽区「公会堂使用決裁簿」（大正9～13年度）の史的価値について」2018年/日本アートマネジメント学会学会誌「アートマネジメント研究」第17.18合併号（P.24-P.35）
9. 「日本期の南サハリンの公会堂に関する調査」2020年「静岡大学 地域創造教育研究」創刊号（P.1-P.10）
10. 「植民地期朝鮮の公会堂における近代的催事の市民の享受の実態について～新義州・木浦・春川の事例を中心に」2022年/芸術文化観光専門職大学紀要「芸術文化観光学研究」創刊号（P.109-121）
11. 「植民地期朝鮮の公会堂における近代的催事の市民の享受の実態について～仁川・釜山・群山の事例を中心に」2023年/「日本文化政策学会学会誌「文化政策研究」第16号（P.7～P.19）
12. 「植民地期朝鮮の公会堂における近代的催事の市民の享受の実態について～平壤・大邱の事例を中心に」2023年/「芸術文化観光学研究」第2号（P.156-170）

### ■ 社会貢献

- 一社）アートをコアとしたコミュニケーションデザイン大学コンソーシアム理事 2022年度～  
東京都江戸東京博物館外6施設指定管理者評価委員会委員 2021年度～（東京都生活文化局）  
東京都江戸東京博物館外6施設指定管理者選定委員会委員 2023年度～（東京都生活文化局）

### ■ アピールポイント

- 1：学外文化施設・団体からの依頼（公演評執筆）  
・城崎国際アートセンター『結婚式』ご出席・ご欠席・ワークインプログレス：<http://kiac.jp/article/2505/>  
・城崎国際アートセンター『ENCORE-Mer.』：<http://kiac.jp/article/2657/>  
・演劇最強論-ing『琉球楽劇の創始者 玉城朝薫が紡いだ歌舞』：  
[https://www.engekisaikyoron.net/epad2024\\_review001](https://www.engekisaikyoron.net/epad2024_review001)
- 2：学外組織と連携したアーツマネジメント  
ピアノ四重奏団アンサンブル・ラロのコンサートツアー（依頼公演：西条、大垣、大船渡、大津、札幌、静岡、東京等）のオーガナイズ、国内外の演奏家のマネジメント、ステージマネージャー。

講師 KOBAYASHI RUNE  
小林 瑠音

02

■キーワード 文化政策、現代アート、アートマネジメント

英国アーツカウンシル史、コミュニティ・アート史、  
地域密着型アートプロジェクトの実践と評価



■教育研究

1. 担当科目

世界の文化政策、企業メセナ論、現代アート論、アートキャリア英語、  
芸術文化・観光プロジェクト実習1～4、文化政策実習

2. 研究

- 1) JSPS科学研究費助成事業（若手研究）  
「英国コミュニティ・アートの再検討：歴史の変遷と国際的影響」（研究代表）
- 2) JSPS英国との国際共同研究プログラム（JPR-LEAD with UKRI）  
「持続可能な文化の将来：コロナウィルスと文化政策の再設定」（分担者）

3. 本学委嘱委員

キャリアサポートセンター、ハラスメント対策委員会、入試委員会



2023年3月公刊（水曜社）

■専門領域

1. 文化政策：英国アーツカウンシル史、芸術の社会的インパクト評価

- 1) 英国アーツカウンシル史：アーツカウンシル制度（芸術事業の助成や評価を行う専門機関）のモデルとなっている英国アーツカウンシルの歴史の変遷と日本への応用可能性に関する研究  
□ 小林瑠音（2016）「1960年代から1980年代における英国コミュニティ・アートの変遷とアーツカウンシルの政策方針」『文化政策研究』第9巻、pp. 7-23.
- 2) 芸術の社会的インパクト評価：芸術事業が社会にもたらす影響に関する定性評価手法の研究  
□ 小林瑠音（2014）「英国における芸術の社会的インパクト評価に関する基礎的考察—政策的背景と評価手法—」『文化経済学』第11巻第1号、pp. 8-17.

2. 現代アート：コミュニティ・アート史、地域密着型アートプロジェクト

- 1) コミュニティ・アート史：英国の事例を中心に、社会経済的困窮地区の住民を主体とした芸術活動の歴史と文化政策の影響に関する国際比較研究  
□ 小林瑠音（2019）「アーティスト・プレイズメント・グループ（APG）：60年代後半から70年代ロンドンのソーシャル・プラクティス」『アーティスト×仕事』HAPS（東山アーティスト・プレイズメント・サービス）
- 2) 地域密着型アートプロジェクト：過疎高齢化対策や地方再生を目的とした芸術祭の事例研究  
□ Kobayashi, R. (2017) 「The Role of Art Projects for the Aging Society of Japan in the Context of Rural Regeneration – Entering a new era of asking why we need art projects?」『Cultural Policy for Regeneration of Small Urban Cities; Germany, Central Europe and Japan』Japanese-German Center Berlin, pp. 101-124.

3. アートマネジメント：子どもとアート

- 1) 子どもとアート：大阪の小劇場應典院を会場にした子どもと大人のアートフェスティバル「キッズ・ミート・アート」の企画・運営および幼児教育や教育哲学の専門家との共同研究。

■アピールポイント

應典院アートディレクター（2011-2015）、大阪府立江之子島文化芸術創造センターアーティストサポートプログラム審査員（2017-2018）、おおさか創造千島財団助成選考委員（2019-2022）、ICA京都プログラム・オフィサー（2020）、一般社団法人CHISOU（奈良県立大学実践型アートマネジメント人材育成プログラム）理事（2020-2023）、京都市文化市民局Arts Aid Kyoto 通常支援型審査員2023）、文化庁アーティスト・イン・レジデンス型地域協働支援事業協力会議委員（2023-）他

講師 KONDO NOZOMI  
近藤 のぞみ



02

- キーワード アートマネジメント、文化政策、文化行政  
文化施設の運営、事業計画、組織運営、まちづくり、  
国際音楽祭、アウトリーチ事業、ボランティアの育成

## ■ 教育研究

### ・担当科目：

知と表現のデザイン(1年)、舞台芸術基礎実習(1年)、芸術文化・観光プロジェクト実習1-4(1-4年)、  
文化施設運営論(2年)、世界の文化政策(2年)、舞台芸術実習A-D(2-3年)、文化政策実習(3年)、  
総合芸術文化実習(4年)

・本学委嘱委員：劇場運営委員会、実習支援センター

### ・専門領域

文化会館をはじめとした文化施設の運営や文化事業の企画・運営にやホールの在り方について探求している。

その経験を活かして、大学ではインターン実習の仕組みづくりや、学15年以上携わってきた。また日仏の文化会館の比較なども行って、「まちに根差し社会に開かれた劇場内公演の制作指導を行っている。学内公演の指導は'21年度「忠臣蔵 キャンパス編」、'22年度「OZ2022」「詩の朗読」、'23年度「饒舌なダイゴと白くてコトエ、マツオはリバーでネオには記憶」の制作を担当。

### (1) 関心のあるテーマ

- ・多様な市民にとっての身近な文化施設や文化会館の運営
- ・文化施設での専門職員の雇用および活用、キャリアアップの仕組み
- ・クリエイションの場としての劇場やコンサートホールの在り方
- ・音楽祭や演劇祭などの文化事業による地域づくり
- ・観光客を引き寄せる劇場やコンサートホールのプログラムづくり

### (2) 研究事例

- ・臨地実習（学外インターン）に関する研究
- ・地方映画館の存続に関する研究
- ・フランスの文化会館「文化の家」についての研究
- ・フランスの地方都市で行われる国際音楽祭についての研究
- ・県立芸術文化センターの公共性についての調査

### (3) 文化事業の実績

- ・国際音楽祭やコンサート、演劇やダンス公演の実施
- ・国際コンクールの運営、市民オペラの制作
- ・演劇などのワークショップの企画運営
- ・病院や学校などでのアウトリーチの実施や巡回の仕組みづくり
- ・コンサート運営にかかわる市民ボランティアの育成
- ・街中パレードの実施

## ■ 地域貢献・社会貢献

RIC PROJECT：夢ホール運営等研修及び人材育成事業（新温泉町）

その他：YB act 会議（養父市）、京丹後市文化芸術のまちづくり推進会議（京丹後市）

## ■ アピールポイント

現場経験を活かしたアドバイスが可能。

また、クラシック音楽、演劇、オペラ、映画、コンクール、市民美術展と幅広く経験している。





語学

傅 建良 -----26

姚 瑶 -----27

情報

藤本 悠 -----28

FU KENRYO  
 准教授 傅 建良 fu\_kenryo@stdat.at-hyogo.ac.jp



03

■ キーワード  
 (専門領域)

英語学 語法文法 対照言語学 言語によるコミュニケーション  
 意味論 現在完了形 文法化 動詞のアスペクト意味  
 語彙概念構造 News Perfect用法 形式と意味の不一致  
 専門職大学の教養科目間の連携 言語景観 テキスト分析など

■ 教育研究

**担当科目**：英語 1A・1B、英語合宿、海外語学研修A・B・C

**著書**：『The Present Perfect in English: From Semantic, Evolutionary, and Contrastive Perspectives』(単、2021)

英語の現在完了形は現在と過去という二つの時間の関係を表す複合時制である (Leech, 2004; Huddleston et al, 2002等)。古英語まで遡ると “I have my work finished.” のような語順だった。また、“Einstein has visited Princeton.” はアインシュタインが生きている間のみ適格であるとの見解がある。更に、口語では “I seen it.” のような「間違い」が無視できないほどある。この謎多き英語の現在完了形について、本書は意味論、文法化及び英語・日本語・中国語三言語対照の視点から、その本質に迫る。

**著書**：『英語実証研究の最前線』(共、2020、開拓社)

担当：第II部、「構文研究」、第2章「Before節における過去完了形と過去形－出来事の時間的構造の視点から－」

**科学研究費助成事業 基盤研究(C)**

研究課題：演劇祭来訪者の広域観光周遊を促す時限的な言語景観の整備による多文化共生社会の構築 (研究分担者)

研究期間：2023年4月 - 2026年3月

**主な研究論文・研究ノート (2022～2023年度)**

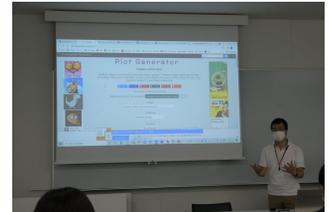
- ① 「形式と意味の非対称の謎解き－Fill inとFill outを中心に－」 『芸術文化観光学研究』 1, 181-188, 2022年9月 (単)
- ② (単・日本英語コミュニケーション学会第15回学術奨励賞受賞) The Form and Meaning Asymmetry: Focusing on “Commencement Ceremony” and “Confidence Trick” 日本英語コミュニケーション学会紀要 31(1), 53-62, 2022年12月
- ③ (単) 「The Eat Your Medicine Puzzle: Where Collocations and Neologisms Meet」 『芸術文化観光学研究』 2, 58-68, 2023年9月
- ④ (共) 「地方開催型芸術祭における時限的な言語景観の比較研究－豊岡演劇祭への応用展開に向けて」 『芸術文化観光学研究』 2, 41-57, 2023年9月

**主な研究発表 (オンライン、2021年)**

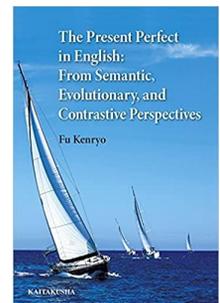
The English Curriculum for a Newly Established Professional College in Japan (2021 Joint International Conference on English Teaching and Learning in Korea, 2021年7月2日)

**本学の運営等の担当**

国際交流委員会委員 (英米協定校など担当)、教務委員会委員



授業風景：英語合宿2021



開拓者 2021.10 発行



開拓者 2020.9 発行

■ 社会貢献

日本学術会議協力学術研究団体・日本英語コミュニケーション学会幹事・理事・編集委員歴任  
 HYOGOロータリーEクラブ会員、クラブ委員会委員長歴任、国際ロータリー2680地区委員会委員歴任

■ アピールポイント

日本英語コミュニケーション学会第15回学術奨励賞受賞 (2023年)  
 大学英語教育学会会員、日本英語学会会員、英語語法文法学会会員、日本中国語学会会員、関西英語語法文法研究会会員、日本英語コミュニケーション学会会員

YAO YAO  
 講師 姚 瑤 yao\_yao@stdat.at-hyogo.ac.jp



■ キーワード 母語・継承語・バイリンガル教育、応用演劇、第二言語習得、多文化共生、異文化コミュニケーション、外国につながる子どもの教育支援

■ 教育研究

- ・担当科目：中国語、日本語、海外実習
- ・研究：

- (1)単著『演劇的手法による日本語教育に関する理論的・実証的研究』（花書院、2017）
  - (2)共著『生命教育視域下小学生心理健康教育教学研究』（厦門大学出版社、2022）
  - (3)演劇祭来訪者の広域観光周遊を促す時限的な言語景観の整備による多文化共生社会の構築（科研費 基盤研究C 共同研究）
  - (4)初等中等教育の演劇関連教育の見取り図作成と教育課程への位置づけのための調査研究（科研費 基盤研究C 共同研究）
  - (5)多文化共生に関する研究：
    - ①外国にルーツを持つ子どもの母語・継承語教育および日本語教育に関する研究
    - ②「生活者としての外国人」の日本語教育支援および、地域日本語学習支援者の養成
- ・本学の委嘱委員：学生生活委員、入試委員  
 ・研究事例



【豊岡市多文化共生推進事業】 成果発表

『演劇的手法による日本語教育に関する理論的・実証的研究』（単著）



【豊岡市多文化共生推進事業】 中国語母語教室



『生命教育視域下小学生心理健康教育教学研究』（共著）



高校コミュニケーションワークショップ報告書『但馬と演劇教育』



県立豊岡高等学校でのワークショップの様子

■ 地域貢献・社会貢献

RIC PROJECT：高校コミュニケーションWS、豊岡市多文化共生推進事業（母語・継承語教育支援事業）

■ アピールポイント

豊岡市多文化共生推進会議副会長、母語・継承後・バイリンガル教育（MHB）学会会員、言語文化教育研究会会員、日本演劇学会会員、多文化関係学会会員・学術委員・年次大会運営委員、日本語教育学会会員、中国語教育学会会員、国際表現言語学会会員・大会準備委員、東アジア日本語・日本文化研究会会員、韓国日本文化学会会員、劇団14+劇団員、(有)パブリックチャンネル所属俳優、NPO法人えんげき広場cue会員

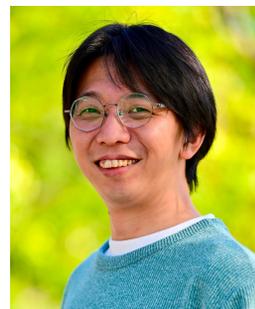
FUJIMOTO YU

准教授

藤本 悠

yu\_fujimoto@stdat.at-hyogo.ac.jp

兵庫県公立大学法人 学術総合情報統括本部 CIO補佐  
芸術文化観光専門職大学 学術情報センター 副センター長



■キーワード 総合情報科学（地理情報・文化情報）

地理情報システム（GIS）、創造的アーカイブ、地域資源、文化財、音響空間情報、データサイエンス、地域活性、ジオパーク、病理診断

■教育研究

担当科目：情報処理演習（1年）、ICT演習（2年）、地域情報論（3年予定）  
データサイエンス演習（3年）、専門演習（3年）、総合演習（4年）

■専門領域

1. 過疎地域における集落の活性化に関する研究
2. 地域資源を活かした創造的アーカイブに関する研究
3. 音響空間情報システムを活用した地域資源情報の活用に関する研究
4. 曖昧な時間表現の実装に関する基礎的研究
5. 地理情報システム（GIS）の開発に関する基礎的研究
6. 但馬地域に関する歴史的・地理的な調査と研究
7. 不可視領域の電磁波を用いた病理診断システムの開発

■地域貢献・社会貢献

1. 「鉱石の道」のブランド化に向けた住民へのヒアリングと提言（2022年～）
2. 出石における歴史史料館等の利用促進に向けた提言（2023～）
3. 山陰海岸ジオパークを活かした地域活性化に関する取り組み（2023年～）
4. 新温泉町における「上山高原」の活用に向けた取り組み（2023年～）
5. 香美町における地域資源を活かした「音のVR」の構築と実装（2024年～）



授業の一環での現地調査（出石）



過去のアンケート調査を利用した観光客の動線分析



大社	充	-----	30
小熊	英国	-----	31
塩川	太郎	-----	32
直井	岳人	-----	33
中尾	清	-----	34
西崎	伸子	-----	35
池田	千恵子	-----	36
坂本	ひとみ	-----	37
高橋	伸佳	-----	38
野津	直樹	-----	39
高橋	加織	-----	40

OKOSO MITSURU

教授 大社 充



■ キーワード 観光地の経営 (デスティネーションマネジメント)

観光マーケティング、DMO形成支援、観光のソーシャルインパクトスタディ

■ 研究の概要

【主要な著書・研究報告書】

- ・単著『主要四カ国の文化政策と政府および民間の芸術文化支援』企業メセナ協議会 (2002)
- ・単著『体験交流型ツーリズムの手法－地域資源を活かす着地型観光－』学芸出版 (2008)
- ・共著『東日本大震災・原発事故 復興まちづくりに向けて』学芸出版社 (2011年)
- ・単著『地域プラットフォームによる観光まちづくり－マーケティングの導入と推進体制のマネジメント－』学芸出版社 (2013) (第36回交通図書賞奨励賞)
- ・単著『DMO入門 官民連携のイノベーション』事業構想大学院大学出版部 (2018) (第13回観光研究学会・観光著作賞)
- ・共著『協力のテクノロジー』学芸出版 (2022)

【地域の取り組み】 観光事業 (DMC) 運営人材研修を全国80地域以上で実施、各地での講演多数。「観光地マーケティングの導入」「DMO形成・確立」の支援に全国20地域以上で従事。現在、「観光が地域に与える影響 (ソーシャルインパクト)」の可視化に取り組んでいる。

DMO研究・デスティネーションマネジメント研究の先駆・第一人者

■ 研究事例

● 専門領域 (観光地域の経営)

行政をはじめ地域の複合的な人や組織が、観光地域経営に求められる複数の要素ごとにプログラムを作成して各種事業を進めることで魅力的で持続可能な地域づくりを行う。

デスティネーションマネジメントの基本フレームワーク

事業内容 市場 カテゴリ	地域外(市場)への働きかけ 対象とする市場		域内への働きかけ 受入れ環境整備								
	国内 団体 個人	海外 団体 個人	DMO								
			飲食	宿泊	交通	施設	小売	体験	すべての市場に求められる環境整備		
特定市場 デスティネーションマネジメント	カテゴリA										
	カテゴリB										
	カテゴリC										
	カテゴリD										
細分化した個人客											
○合計											

■ 政策系シンクタンク(NPO)での活動実績

- ・「DMO形成支援事業」 (越前市／熱海市)
- ・「DMO財源開発(計画)研究セミナー」 (共催:京都大学管理大学院・京大オリジナル)
- ・「デスティネーションマネジメントEssence」 (共催:京都大学管理大学院・京大オリジナル)
- ・「ポストコロナ期に漕ぎ出す観光羅針盤作成事業」 (岡山県)
- ・「歴史的資源を活用した観光まちづくりモデル事業」 (伊賀市)

■ 観光まちづくり系・人材育成事業

- ・「長崎県観光系職員研修」(長崎県)
- ・「関西広域連合観光系職員研修」(関西広域連合)
- ・「秋田県観光地域づくり職員研修」(秋田県自治研修所)
- ・「高知県地域力創造研修」(こうち人づくり広域連合)
- ・「福島県観光地域づくり人材育成講座」(福島県)
- ・「豊岡市大交流課職員研修」(豊岡市)
- ・「観光戦略の実践」(市町村アカデミー ~現在)
- ・「観光による地方創生」(自治大学校 ~現在)

■ アピールポイント

- 2009-2010国土交通省「成長戦略会議」委員 (観光分野／都市分野担当)
- 2010 内閣府行政刷新会議規制制度改革「農林・地域活性化WG」委員
- 2013 経済産業省「産業構造審議会」委員
- 2014-2019内閣官房「まち・ひと・しごと創生会議」委員
- 2020- 総務省「ふるさとづくり懇談会」委員
- 2021-2022 兵庫県「ユニバーサルツーリズム推進検討会」座長
- 2023 岡山県「津山まちじゅう博物館構想・有識者会議」委員 (ほか)

OGUMA HIDEKUNI  
教授 小熊 英国



■ キーワード サービスマネジメント 観光学 有人宇宙学

■ 教育研究

- ・担当科目：マネジメント入門、観光事業概論、観光交通業実習、観光サービスマネジメント論、旅行産業論、旅行事業実習
- ・本学委嘱委員：教務委員会委員、実習支援センター長

・専門領域

1. サービスマネジメント

観光を中心としたサービス業（飲食、宿泊等々）をハーバード経営大学院の研究で有名なSPCモデルや、顧客満足マーケティング等の手法を活用し事業開発・支援

2. 観光学

大手航空会社の海外拠点でジェネラルマネジャーとして従事、世界100ヶ国以上の渡航経験を活かし、外国人の日本誘致、インバウンドを研究

3. 有人宇宙学

宇宙における観光と旅行について京都大学大学院にて研究

事例1 講演

第6回江東区観光協会セミナー 開催のお知らせ

空の観光のプロフェッショナルの視点での世界と日本の観光事情

これまで世界 100 か国以上に渡航、  
パイロット-CAの世界から海外ツアー企画の裏側や世界と日本の観光事情を語ります。  
「観光立国から観光先進国へ」

日時：平成31年2月15日(金)18:30~20:00  
会場：江東区産業会館 第1会議室  
(東京外口駅西口徒歩10分)  
参加費：無料

講師紹介  
クローズド経営大学院教授  
小熊 英国氏 Ph.D. (学術博士)

事例2 コロナ渦のサービス業 セミナー



2020あさって会議N\_小熊英国様

事例3 サービス業のコンサル（社員による課題抽出）



事例4 宇宙に関するフォーラム調査発表



●ICE exists underground.  
NWA 2727と呼ばれる月隕石から「モガナイト」と呼ばれる水が関与してできる鉱物を発見  
沈殿反応  $(\text{SiO}_2(s) + 2\text{H}_2\text{O} \leftrightarrow \text{H}_2\text{SiO}_3(aq))$  には水が不可欠

●water on the moon surface  
微小な隕石が衝突する際の衝撃によって、年間最大220トンもの水が放出されている  
NASAの探査機LADIE  
2019年4月18日付の宇宙誌「Nature Geoscience」  
月の南半球にあるクワダウス・クレーターを観測した結果、6.1μmの水分分子に特有の波長を検出。1m<sup>2</sup>の土の中に、100~412ppmの水分分子が閉じ込められている

東京理科大学 (株) 地球科学「Science Advances」  
https://www.sciencedata.jp/news/2019/07/4607.html

論文誌「Nature Astronomy」の10月26日発行

事例5 インバウンドツーリズム 海外現地調査



■ アピールポイント

経営、観光、サービスホスピタリティの分野において、大企業をはじめ多くの企業、地方自治体等で講演、講義、コンサルティングに携わってきました。企業のアドバイザーボード、学会理事多数兼任。

SHIOKAWA TARO  
教授 塩川 太郎 kuwataro@stdat.at-hyogo.ac.jp



■キーワード 観光地理学、歴史学、行動生態学  
文化遺産、観光資源、災害文化、自然教育

## ■教育研究

・担当科目：観光地理学、観光資源実習、国際防災論、海外実習A、専門演習、総合演習

・研究：著作

<論文>

「台湾の日本統治時代に造られた西国三十三所観音霊場  
-現状と保存維持・観光資源化への課題-」、『台湾研究』  
「1999年台湾921大地震における地震記念碑について」、『歴史地震』  
「台湾における災害文化と防災事情」、『海外事情』  
「台湾における温泉旅行の志向性(1)-台湾温泉の印象-」、『温泉』・・・等

<学会発表>

台湾921大地震の震災遺構と防災ツーリズム（人文地理学会）  
台湾宜蘭県に残る西国三十三所霊場の観光利用について（日本観光研究学会）  
台湾鹿港における公共レンタサイクルと観光振興について（日本観光研究学会）・・・等

・専門領域

### （1）文化財と観光振興

地域の文化財を調査し、文化財が持つ歴史・文化的価値を明らかにすることで、保存維持と観光資源化について考える。

### （2）災害文化と防災

過去の災害を伝える災害伝承碑や遺構を調査し、防災教育に役立てる。

### （3）国際交流（CAT国際交流委員）

海外の大学等を通して日本語可能な外国人学生のインターンシップネットワークの構築。

### （4）自然観光資源の利用

動物や昆虫の生態調査を行い、生態系の保護や自然観光資源としての利用を考える。地域にて昆虫展開催。



図1 文化財調査（塩川）



図2 拓本作業による碑文の解読（塩川）



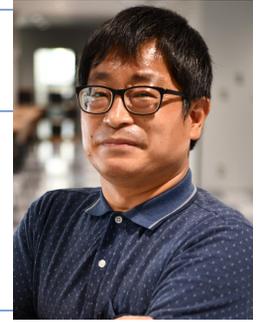
図3 開催した昆虫展

## ■アピールポイント

<2つの博士号> 文学博士と農学博士

- ・震災関連行事に歴史地震研究の専門家として参加。
- ・東日本大震災関連のラジオ番組に防災学の専門家として出演。
- ・地方銀行や文化館にて昆虫展を開催（夏休み期間）、昆虫博士として標本作成など子供向けワークショップを行った。
- ・台湾の大学（観光・文学系）にて勤務。学科長や国際交流委員など歴任。

NAOI TAKETO  
 教授 直井 岳人 taketo\_naoi@stdat.at-hyogo.ac.jp



■ キーワード 観光研究（観光者心理）

実学的：再訪促進、観光資源発掘、入店したくなる店舗の印象、混雑感緩和  
 学術的：手段目的連鎖モデル、混雑感、生活感、ロイヤルティ、景観評定、  
 環境配慮行動  
 対象地：歴史的町並み、商店街、テーマパーク、演劇祭など

■ 教育研究

- ・担当科目：観光産業マーケティング論、観光マーケティング分析、DESTINATION マーケティング論、旅行者心理学、観光キャリア英語、専門演習、総合演習
- ・専門領域：観光研究（環境心理学、消費者行動）
- ・研究概要：魅力的だと思ふ場面の写真を撮影し、撮影理由を答えてもらう（キャプション評価法）  
 観光者の環境配慮行動（ごみを正しく捨てるなど）を促進するためのしかけ  
 観光地の人の存在の意味：あまり人がいないほうが良い場面、いるほうが良い場面に関する研究  
 芸術祭来場者の「ついで観光」（空いた時間の観光、開催時期以外の再訪）
- ・アピールポイント：対応可能な調査手法：アンケート調査、インタビュー、景観評定実験、テキストマイニング  
 英語での講義、講演可能  
 文系と理系、海外と国内の2つの博士号：観光[学術]イギリス、工学[都市計画]日本

■ 主な研究業績

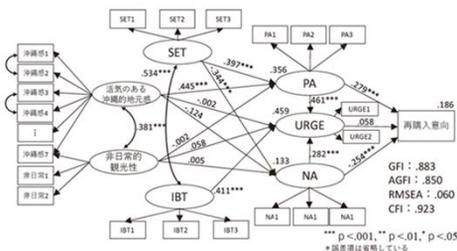


図-4 全体評価と観光者特性に関わる包括的購買モデル

【論文】観光研究：2021年  
 （上原・直井・飯島・伊良皆、2020）

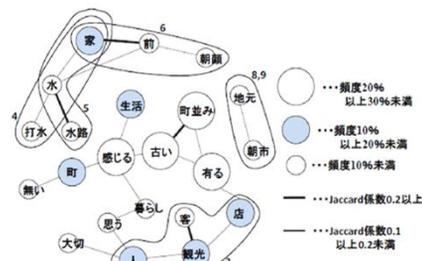


図2：問8への回答中の頻出語間の関係

【論文】都市計画論文集：2013年  
 （直井・十代田・飯島、2013）

- 科研C 観光者の環境配慮行動を誘発する他者行動：旅の恥をかき捨てない観光者行動の為に（2023年度まで）
- 科研C イベント観光の時空間的広がり：演劇祭会期中回遊性と会期外再訪意向が生じる仕組み（2025年度まで）
- 本学[紀要]芸術文化観光学研究：2024年 演劇祭による観光への時空間的影響 —豊岡演劇祭 2022を事例とした 試行的分析— 直井 岳人・野津 直樹・河村 竜也
- Asia Pacific Journal of Tourism Research：2023年  
 ・Impact of Incomplete Planned Experiences on Tourist Satisfaction: A Case of Tokyo Disneyland 河田 浩昭・直井 岳人
- 日本観光研究学会全国大会【発表+発表論文】：2021年  
 ・GoTo トラベルキャンペーン利用意向と観光に関する心理的要因の関係：GoTo トラベルキャンペーン開始 直後の東京都のケース 直井 岳人・十代田 朗・飯島 祥二・上原 明
- 公益財団法人 日本交通公社発行：2021年8月10日 「芸術文化×観光×経営によるイノベーション、価値創造、地域貢献：芸術文化観光専門職大学（特集 観光振興に貢献する地方公立大学：地域における現状と課題、そして期待）」
- 日本観光研究学会【特集論文】観光研究：2021年  
 ・観光地での訪問客と他者との係わり：感染症流行期およびその前後における訪問客心理の観点から
- 日本観光研究学会【論文】観光研究：2020年  
 ・観光者の購買行動を促す店舗の評価に関する研究 —沖縄県那覇市国際通り周辺商店街における土産物購買の場合— 上原 明・直井 岳人・飯島 祥二・伊良皆 啓  
 2021年度日本観光研究学会優秀論文賞
- 公益社団法人日本都市計画学会【論文】都市計画論文集：2013年  
 ・観光地としての歴史的町並みにおける地元の生活の様相 —訪問客のまなざしの対象と、それに対する住民の評価— 直井 岳人・十代田 朗・飯島 祥二
- Tourism Management：2011年  
 ・Applying the caption evaluation method to studies of visitors' evaluation of historical districts 直井 岳人・山田 孝延・熊澤 貴之

教授 NAKAO KIYOSHI  
中尾 清 k-nakao0418@stdat.at-hyogo.ac.jp



■ キーワード 観光学 総合政策科学 観光政策・行政 温泉論  
観光まちづくりの実践・支援 温泉観光地域の活性化支援

## ■ 教育研究

- ・担当科目：観光政策論、観光地理学（オムニバス）、宿泊業実習1・2、地域連携実習、専門演習、総合演習
- ・本学の運営等の担当：紀要「芸術文化観光研究」編集委員長、労働安全衛生委員
- ・研究：著作 …「地方観光政策と観光まちづくりの展開」単著、「都市観光行政論」単著、「自治体の観光政策と地域活性化」単著、「観光学入門」(共編著)

### 関連分野の経験

- ① 観光基本計画などは、大阪府岸和田市、和歌山県岩出市で経験あり、また、「総合基本計画」審議会委員として、大阪府泉南市、阪南市、田尻町で計画作りに参画した。さらに神戸市職員時代、垂水区区別計画の総括をした経験がある。
- ② 大阪観光大学の教員（現在、名誉教授）として、大阪府南泉州地域（岸和田市以南5市3町）をフィールドとして社会貢献の実践をしてきた。その前職の神戸市職員では、経済・開発畑を歩き、主として観光やまちづくり推進、勤労者の生涯学習などの経験がある。
- ③ 「声がかかればどこでも行く」を信条にしていたので、授業に支障のない限り、「相談」「打ち合わせ」「講演」など「どこへでも行く」を実践してきた。

## ・専門領域

### 研究事例

#### 事例1 地域の観光まちづくりの実践や支援

大阪観光大学では、教育研究の傍ら、地域貢献として地域の観光まちづくりの実践や支援をするともに「観光出前講座」も要請があれば積極的に行った。本学では日本遺産「北前船寄港地」の研究をしている。得意分野・・・「観光学概論」「ボランティアガイドとホスピタリティ入門」「温泉地経営」などである。

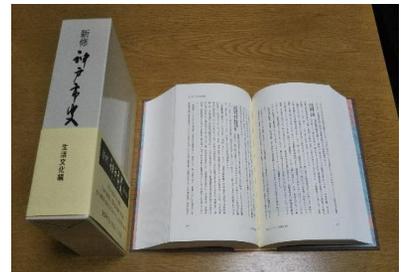
#### 事例2 近現代の有馬温泉における温泉観光まちづくりの系譜

##### ・研究の経緯

有馬温泉は神戸市観光係長で職務として関わってから地元と関係が深まり、その後大阪観光大学に転じてからも研究のフィールドとしてきた。平成29年初めに神戸市の依頼を受け、平成29～令和元年度の3か年かけて、研究しその成果をまとめた。

##### ・研究の成果

分担執筆『新修神戸市史・生活文化編』（第2章「地域と生活」第3節「有馬温泉の発展と課題」140～198頁、令和2年3月発行）



分担執筆『新修神戸市史・生活文化編』（第2章「地域と生活」第3節「有馬温泉の発展と課題」140～198頁、令和2年3月発行）

## ■ 地域貢献・社会貢献

《現在、就任している公職》（一社）泉佐野シティプロモーション推進協議会顧問

《過去、就任した主な公職》 泉佐野市特別顧問（観光行政・政策）、泉南市都市計画審議会会長、大阪府民の森等指定管理者評価委員会委員長、大阪府和泉市観光推進委員会副会長、岸和田市観光振興計画策定検討委員会委員長、同公共事業評価委員会委員長、泉佐野市犬税検討委員会委員長、泉南市総合計画審議会会長、阪南市・田尻町総合計画審議会委員、新修神戸市史「生活文化編」執筆委員など多数。

## ■ アピールポイント

《元職》 神戸市職員、大阪観光大学教授（現在、名誉教授）

- キーワード 学問分野：アフリカ地域研究、生態人類学、環境社会学  
東アフリカ、エチオピア、野生動物保全、民族文化観光、再生可能エネルギー開発、  
自然資源の持続的利用、住民参加

■ 担当授業

- ・社会調査学・社会調査演習・ニューツーリズム論・  
知と表現のデザイン・国際環境論・専門演習・総合演習
- ・学内業務
- ・教務部長（2024年4月～現在）



04

■ 研究領域

（1）アフリカの野生動物保護政策に関する研究

Nobuko NISHIZAKI. 'Park scouts/Rangers as Key Persons Connecting Local People and Park Authorities: The Case of Ethiopian Wildlife Protected Areas'. Toshio Meguro・Chihiro Ito (eds.) "African Potentials' for Wildlife Conservation and Natural Resource Management: Against the Image of 'Deficiency' and Tyranny of 'Fortress'", *Langa Rpcig*. 2021.

西崎伸子. 第7章「新自由主義的保全アプローチと住民参加 —エチオピアの野生動物保護区と地域住民間の対立回避の技法」『アフリカが示す「国立公園観光化」の教訓—地域社会と円滑にかかわるために』2017年8月.

（2）観光に関する研究

西崎伸子. 'An Ethiopian Alternative to "Traditional" Ethnic Tourism', *global-E*.12(1) 2019.

西崎伸子. 「エチオピア西南部における民族文化観光の展開—新規参入のアクターに着目して」『アフリカ研究』92:43-54. 2017.

（3）災害復興に関する研究

西崎伸子. 原発災害における加害者の「応答の不在と暴力性」『環境社会学研究』27 54-67 2021年12月

人々と飲食を共にしながらの調査スタイル  
(エチオピア西南部の村にて)

共同研究・競争的資金等の研究課題

- ・科研費（基盤研究B）代表「東アフリカ農牧社会のエネルギー選択：世帯レベルでの実証分析と地域間比較」2024年4月～2029年3月
- ・科研費（基盤研究B）代表「東アフリカの再エネ開発をめぐる社会的合意形成と土地利用再編の解明」2020年4月～2024年3月.
- ・科研費（基盤研究A）分担「アフリカ観光の新潮流と少数民族社会の再編：「プロジェクト型観光」に着目して」2017年4月～2023年3月.
- ・科研費（基盤研究B）分担「「福島を伝える」ICT教材開発と評価」2020年4月—2023年3月.



■ アピールポイント

- ・エチオピアの自然保護区の管理に関する政策提言（2000年～現在に至る）
- ・アフリカの民族文化観光についての観光業者との協働（ワークショップなど）（2011年～現在に至る）
- ・東日本大震災以降の子ども・女性支援と講演活動（2011年～現在に至る）
- ・福島県の環境関連の審議会委員（福島県環境影響評価審査委員会委員（2011- 2015）など

IKEDA CHIEKO  
准教授 池田 千恵子



- キーワード 観光まちづくり、アルベルゴ・ディフーズ、ツーリズムジェントリフィケーション 地域再生
- 研究分野 観光地理学、都市地理学、人文地理学
- 教育 担当科目：芸術文化・観光プロジェクト実習（1・2・3・4）、ディスティネーション実習、海外実習A、専門演習、総合演習

## ■ 研究内容

### ▶ 中心市街地の再生（リノベーションまちづくり）

池田千恵子（2019）「リノベーションによる中心市街地の再生 -新潟市上古町地区を事例として-」、日本都市学会年報（52）pp. 187-195

### ▶ アルベルゴ・ディフーズ（まち全体宿）

池田 千恵子（2022）「歴史的建造物の再利用による地域の再生 -アルベルゴ・ディフーズに認定された岡山県矢掛町を事例として-」、日本都市学会年報（55）、pp.149-158

### ▶ ツーリズム・ジェントリフィケーション（観光振興による不動産価格の高騰、立退きなど）

池田千恵子（2022）「城崎温泉における観光需要の高まりによる地域の変容」、都市地理学（17）、pp.10- 21

池田千恵子（2021）「観光需要の拡大による地域の変容 -京都市下京区菊浜を事例として-」、日本都市学会年報（54）pp. 167-175

池田千恵子（2020）「町家のゲストハウスへの再利用と地域に及ぼす影響 -京都市東山区六原を事例に-」、地理学評論 Vol. 93(4) pp.297-313

## ■ 共同研究・競争的資金等の研究課題

▶ 科研費（基盤研究B）分担「日本における持続可能な観光をもたらすシステムに関する地理学的研究」  
2021年4月 - 2025年3月

▶ 科研費（若手研究）代表「国際観光客増加にともなう都市の変容-ツーリズムジェントリフィケーション-」  
2020年4月 - 2024年3月

## ■ 講演・研究会など

▶ JR吹田駅周辺まちづくり講演会 2022年2月7日  
「大学連携による商店街の活性化について」

▶ 金沢大学 地域政策研究センター 公開研究会 2020年2月3日

「ツーリズムジェントリフィケーション - 金沢市と京都市における 観光需要の増加に伴う都市の変容 -」



中心市街地の再生や観光関連の書籍も執筆（共著）

## ■ 社会貢献

2018年4月～ 東淀川区社会福祉協議会 大阪市生活支援体制整備事業 協議体 議長

2021年4月～ 日本都市計画学会 防災・復興問題研究特別委員会 第3部会：人為的災害

2021年4月～ 奈良県五條市市史編纂 地理環境専門部会員

2022年7月～ 大阪府吹田市 シティプロモーションアドバイザー会議 委員長

2023年6月～ 金沢大学 先端観光科学研究所 客員准教授

## ■ アピールポイント（職務スキル）

### ▶ 株式会社

広告制作ディレクターから億単位のプロジェクトマネージャーなど、魅力抽出とプロジェクトの推進が得意です。

### ▶ 某私立大学

産官学連携センター長として、地域連携、高大連携、社会貢献事業など地域との協働を推進しました。

### ▶ 現在

研究者として学生と共に地域に出向き、その成果を地域に還元していきたいと思い、2023年4月に転職しました。但馬地域でいろんな活動に取り組んでいきたいです。

SAKAMOTO HITOMI

准教授 坂本 ひとみ

h\_sakamoto@stdat.at-hyogo.ac.jp



04

- キーワード まちづくり、地域創生、ツーリズム、人材育成、キャリア開発、地域産業支援  
地域の人材育成研修、企業・市町村職員研修、教育機関キャリア研修等

### ■ 教育研究

- ・担当科目：エリアマネジメント、マネジメント入門、宿泊業実習1、宿泊業実習2、人的資源管理論

### ■ 専門領域

- ・地域の人材育成・・・人権擁護委員研修、商工会議所女性部研修 等
- ・地域の産業育成支援・・・地場産業大賞の審査委員、高校生の商品開発審査委員 等
- ・市町村職員研修・・・女性管理職研修、教育委員会新任教員研修、男女共同参画研修、DV防止研修 等
- ・キャリア支援・・・小学・中学・高校性のためのキャリア開発支援講座、保護者のための就活セミナー 等
- ・地域創生・・・地方の農業インターンシップ支援 等
- ・学生による地域活性化を支援



高知県事例

学生による「高知観光」  
プロモーションビデオの作成



和歌山県湯浅町事例

学生による「湯浅ブレンドコー  
ヒー」の開発と販売等



高知県事例

農業インターンシップと  
学生による6次産業提案

### ■ 社会貢献

- ・経済産業省 中小企業基盤整備機構 プロジェクトコーディネーター
- ・厚生労働省 キャリア支援室会議委員
- ・岐阜県白川村観光振興プロジェクトの実施
- ・内閣府 男女共同参画リーダー
- ・厚生労働省 ジョブカード講習講師
- ・人事院 公務員懇話会委員
- ・産業技術総合研究所 カウンセラー
- ・兵庫県神崎郡福崎町 男女共同参画審議会 委員長
- ・兵庫県神崎郡福崎町 行政改革委員
- ・高知県市町村男女共同参画計画策定手引書 作成委員
- ・高知県インバウンド戦略プロポーザル審査委員

### ■ アピールポイント

専門は経営学です。金融機関の人事部や男女共同参画センターでの勤務を経験し、高知県観光特使として高知のツーリズムPRを学生と企画し動画を配信する等を行ってきました。また、地場産品の新商品開発等にも関わりました。企業再生の手法を用いて、資源をどう生かすかなどを考えながら地域の商品（モノ・コト）を開発支援してきました。農業にも携わり、農業インターンシップの企画運営や学生による商品の提案などを手がけました。

TAKAHASHI NOBUYOSHI

准教授 高橋 伸佳 n\_takahashi@stdat.at-hyogo.ac.jp



■ キーワード **地域活性化、まちづくり、ウェルビーイング、ヘルスケア、スポーツ**  
ヘルスツーリズム、スポーツツーリズム、ワーケーション、スマートシティ、  
観光衛生マネジメント、医療インバウンド

■ 教育研究

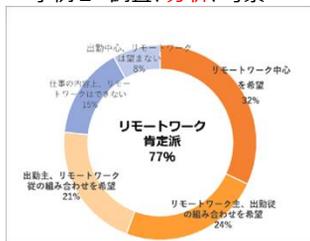
- ・担当科目：観光事業概論、ニューツーリズム論、宿泊産業論、エリアマネジメント論、インバウンド・マーケティング論  
観光プロモーション演習、宿泊業実習、ホスピタリティ実習、ディステイネーション実習、専門演習、総合演習
- ・研究（2024年度）：
  - ・個人研究「地域住民のウェルビーイングと来訪者との交流による地域活性化に関する研究 ―新たなヘルスツーリズムの構築に向けて―」
  - ・科学研究費助成事業基盤研究B「芸術文化と観光と地域ケアのリンケージ―総合文化政策によるウェルビーイングの実現」
  - ・科学研究費助成事業基盤研究C「演劇祭来訪者の広域観光周遊を促す時限的な言語環境の整備による多文化共生社会の構築」  
＜地域連携事業等＞
  - ・豊岡市（2021-2024）「豊岡コミュニティ・ツーリズム事業」 ※観光庁「令和5年度観光白書」の持続可能な観光地づくり事例に掲載
  - ・新温泉町（2024）「観光・スポーツ振興に向けたフィールドワーク事業」
  - ・兵庫県（2024）「ひょうごUTコンシェルジュ育成プログラム」監修  
＜書籍（執筆中）＞
  - ・Handbook of Japanese Tourism（第27章 Tourism and Covid-19）The Japan Document Handbooks Series
  - ・一からの観光事業論（第13章 観光まちづくり）碩学舎
- ・本学委嘱委員：学生部長、ハラスメント対策委員会委員など

・専門領域 **観光・健康・スポーツを中心としたサービス業の事業開発、事業再構築、サービス・マーケティング、サービス品質**

事例1 セミナー、ワークショップ



事例2 調査、分析、考察



事例3 政策・制度設計、審査



事例4 プログラム・コンテンツ開発



事例5 プロジェクト推進／社会実装



豊岡コミュニティ・ツーリズム事業  
スポーツ庁  
Sports in Lifeプロジェクト  
Sports in Life2023賞 受賞

■ アピールポイント（地域貢献・社会貢献）

- ・特定非営利活動法人日本ヘルスツーリズム振興機構（業務執行担当理事）、ヘルスツーリズム認証制度審査員
- ・日本経団連ヘルスケア産業部会「健康投資と企業経営」委員（2006年～2007年）、経済産業省近畿経済産業局「健康文化産業の見える化」委員（2008年）、大阪市「健康予防医療プロジェクト」コーディネーター（2008～2009年）、国土交通省観光庁「ニューツーリズムの顧客満足度調査」委員（2011年）、静岡県「ふじのくににすずおか観光振興アドバイザー」（2011年～）内閣府「沖縄独自の医療情報基盤を活用した実践的医療サポート及び医療情報活用産業」委員（2015年）、栃木県「とちぎヘルスケア産業推進懇話会」委員（2016年～2019年）、東京商工会議所「健康づくり・スポーツ振興委員会」委員（2016年～）、東京消防庁「救急車適正利用等の促進に関する有識者会議」委員（2017年）、経済産業省「医療技術・サービス拠点化促進事業」研究会委員（2017年）、熊本県荒尾市「（仮称）道の駅あらお」委員（2018年～2020年）、都市再生機構「URまちづくり支援専門家」（2019年～）、埼玉県三郷市「三郷市都市型ヘルスツーリズム推進協議会」座長（2019年）、Go Toトラベル「コロナ対策全施設調査に関するアドバイザー」（2020年）、環境省「国立公園満喫プロジェクト」における自然体験コンテンツのガイドラインに係る作成等業務「検討会委員」（2020年）、日本観光経営学会理事（2020年～）、観光庁「地域の観光資源の磨き上げを通じた域内促進に向けた実証事業」専門家（2021年）、養父市「道の駅ようか運営者選定委員会」委員（2021年）、地域総合整備財団「地域再生マネージャー事業」推進アドバイザー（2022年～）、観光庁「令和4年度地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品創出事業」専門家（2022年）、スポーツ庁「Sport in Life 公募モデル事業」審査員（2022年～）豊岡市「ネオカルTOYOOKA推進協議会」会長（2022年～）、朝来市「あさご芸術の森多々良木交流館指定管理者選定委員会」委員長（2022年）、豊岡市「道の駅「神鍋高原」最適化整備運営計画策定委員会」委員長（2022年～2023年）、第3次朝来市観光基本計画策定業務プロポーザル審査員、第3次朝来市観光基本計画検討会委員（ともに2023年）、新温泉町スポーツ推進計画策定委員会アドバイザー（2023年）、養父市健康づくり推進協議会委員長（2023年～）など、公職を通じた研究の社会実装や活動支援に取り組んでいる。

講師 NOZU NAOKI  
**野津 直樹** nozu@stdat.at-hyogo.ac.jp



■ キーワード 観光情報、交通ビッグデータ、芸術文化観光学、豊岡演劇祭

国内観光・インバウンド観光のデータ分析による観光資源の潜在需要の調査、観光客の公共交通を活用した地域内周遊を促進する情報整備手法の検討

■ 教育研究

担当科目：知と表現のデザイン、情報処理演習、観光交通論、観光情報演習・芸術文化・観光プロジェクト実習  
 主要研究：野津直樹 (2016)「ビッグデータによる観光動態分析」、『人工知能』31(6)、pp.850-857  
 野津直樹 他 (2017)「交通ビッグデータを活用したまちづくり」、『新都市』71、pp.40-46

■ 地域貢献・社会貢献

- 2023年度：豊岡高等学校 特別非常勤講師
- 2022年度～：豊岡高等学校「探究Ⅰ」地域課題研究講師
- 2022年度：八鹿高等学校 高大接続改革推進事業 出張講義講師
- 2022年度～：日本国際観光映像祭 審査員（国際部門）
- 2022年度～：新温泉町 交通政策研究会アドバイザー
- 2022年度～：豊岡市 城崎温泉交通環境改善協議会参加
- 2022年度：兵庫県 新観光戦略推進会議専門委員
- 2021年度：兵庫県 新全県ビジョン検討委員会委員
- 2020年度～：豊岡演劇祭実行委員会 モビリティディレクター



▲ RIC noslisu実証実験 (芸術文化観光専門職大学にて)

豊岡演劇祭 2022 公共交通早見時刻表

豊岡演劇祭  
 Toyooka Theater Festival

▲ 豊岡演劇祭2022会期中に配布した「公共交通早見時刻表」



▲ 電動キックボード実証実験 (城崎温泉にて)

▲ 豊岡演劇祭2022におけるオンデマンド交通実証実験

■ アピールポイント

- 【受賞】第12回観光情報学会全国大会(2015)、第13回観光情報学会全国大会(2016) 大会優秀賞
- 【資格】旅客自動車運送事業運行管理者、国内旅行業務取扱管理者、応用情報技術者、専門統計調査士、社会調査士 他

TAKAHASHI KAORI  
助教 高橋 加織 kaori\_takahashi@stdat.at-hyogo.ac.jp



■ キーワード ジェンダー研究、観光業における労働問題  
女性やマイノリティの職場環境及び生活環境の改善、インターンシップの構築  
及び支援

04

■ 教育研究

・担当科目：観光資源実習（1年）、宿泊産業論、宿泊業実習1・2、旅行業実習1、ホスピタリティ実習、  
海外実習A（2年）、旅行業実習2（3年）

・本学委嘱委員：入試委員、ハラスメント対策委員会委員

・研究：1. ジェンダー研究：職場環境の改善

(1) 宿泊業における職場・生活環境の改善：インタビュー調査を行い、働く人たち（特に、女性、外国籍、障  
がい者など）の抱えている問題を明らかにすることで、職場の環境および生活環境の改善に貢献できる。  
宿泊業で働く人は、女性、外国籍の方、子育て中の方も多いため予想される。近隣の親類縁者などのサ  
ポートがなくても子育てと就労を両立し、生活しやすい環境の整備や支援をおこなう。

2. 観光研究：宿泊業支援、インターンシップの構築および支援

(1) 宿泊業のイベントや講習会（小中学生向け、地域住民向けなど）を企画できる。

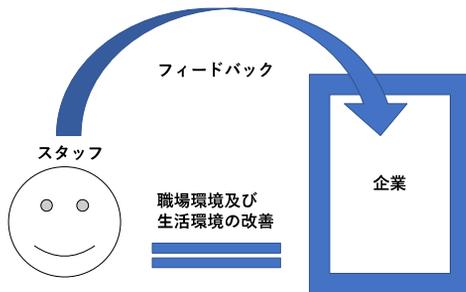
(2) 国内外の企業や教育機関と宿泊業におけるインターンシップの提案。

・運営等の担当

観光業界を目指す若者向けセミナー（高校生対象）実施事業

・専門領域

事例1. インタビュー調査を用いた職場および生活環境の改善



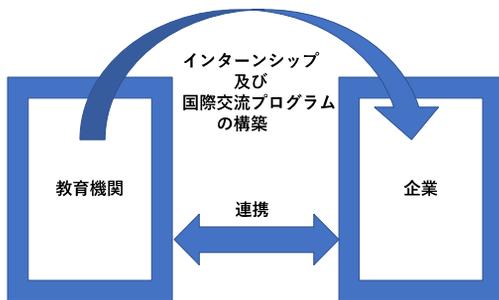
インタビュー調査を用いたより良い職場づくり

\* インタビュー調査の結果  
を分析し、企業へフィード  
バックすることにより、職場  
環境及び生活環境を改善  
し、より良い職場づくりを  
目指します。



開学記念フォーラムMC

事例2. インターンシップの構築及び支援



国内外の教育機関及び企業との連携

\* 国内外の教育機関及び企業の架け橋  
となるインターンシップ及び国際交  
流プログラムの構築を支援します。  
言語、文化、宗教、習慣などの異な  
る方々と交流することにより、企業、  
教育機関及び地域の多文化共生を  
実現します。

■ アピールポイント

ホテル業において国内外要人接遇を多数経験。

# 05



山中	俊之	-----	42
小畑	克典	-----	43
瓶内	栄作	-----	44
千賀	喜史	-----	45
小島	寛大	-----	46
辻村	謙一	-----	47

YAMANAKA TOSHIYUKI  
 教授 山中 俊之 toshi.yamanaka@stdat.at-hyogo.ac.jp



■キーワード 国際教養、リーダーシップ  
 グローバル情勢理解、グローバルビジネス支援、地域創生支援、行政支援

■教育研究

- ・担当科目：世界を知る（1年）、リーダーシップ論（2年）、創造性開発演習・マネジメントキャリア英語・専門演習（3年予定）、総合演習（4年予定）
- ・研究：著作 …世界の民族超入門

・国際交流プロデュース  
 CAT国際交流センター長：ソウル芸術大学との連携協定締結と平田学長記念講演、台湾3大学（建国科技大学、修平科技大学、領東科技大学）との連携協定締結

・専門領域

1. グローバル情勢理解
  - ・現在の国際情勢についてSDG s や移民問題、テクノロジーなどの論点と連動させて、講演・ワークショップを行うこと。
  - ・世界の歴史、宗教、芸術文化、哲学について講演・ワークショップすること。
  - ・英語等外国語習得の意義について講演・ワークショップすること。
2. グローバルビジネス支援、グローバルリーダーシップ支援
  - ・経営者、リーダー向けに、現在の国際情勢とビジネスの関係について講演・ワークショップすること。
  - ・世界や日本のあるべき方向について、事業者などが参加する会合でファシリテーションすること。
  - ・海外進出を目指す企業において、海外出張や赴任者を研修やコーチングを通じて育成すること。
3. 地域創生支援
  - ・地域創生について、住民、行政、事業者などが参加する会合でファシリテーションすること。
  - ・観光振興について、世界各地の文化や歴史文化を基にアイデアを出すファシリテーションすること。
  - ・外国人の居住者や観光客への生活支援。
4. 行政支援
  - ・行政機関の人材開発のあり方についてアドバイス。

■地域貢献・社会貢献

RIC PROJECT：鉾石の道活用促進プロジェクト（朝来市）、朝来市職員人材育成事業（朝来市）、学生による香美町フィールドワーク事業（香美町）、新温泉町講師派遣支援事業（新温泉町）

■アピールポイント

- ・関連講演や研修を過去18年間にわたり経験。ビジネスパーソンを含め累計4万人以上に研修実施。
- ・世界96か国を訪問して、現地の情勢を徹底的に視察。イナモリフェローに選抜され、米国シンクタンクCSISにて、グローバルリーダーシップについて研鑽を積む。
- ・英語での講演、ワークショップ可能。
- ・歴史文化、宗教、世界情勢の理解、公務員人事等に関する書籍の出版。
- ・全国の自治体職員3,000人以上にインタビュー。医療福祉、教育現場など自治体の現場を多数訪問。大阪市特別顧問をはじめ多くの行政機関で専門家委員を務める。



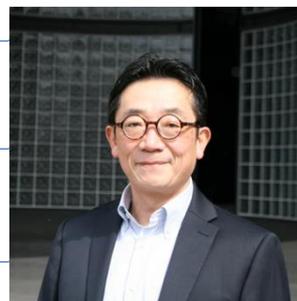
図1 山中俊之著「世界の民族」超入門 2022/02/ ダイヤモンド社



図2 RIC プロジェクト（新温泉町）の講演

OBATA KATSUNORI

准教授 小畑 克典 k\_obata@stdat.at-hyogo.ac.jp



05

■ キーワード 金融・ファイナンス、会計、グローバル経営、  
多文化マネジメント、プロジェクト・マネジメント

## ■ 教育研究・専門領域

<担当科目>

アカウントニング入門、ビジネスアカウントニング論、  
グローバルリーダー入門、地域イノベーション実習、専門演習、総合演習

<本学委嘱委員>

国際交流委員会、学生生活委員会

<研究領域>

1. 金融・ファイナンス  
コーポレート・ファイナンス、財務マネジメント、金融教育
2. 芸術文化の社会的・経済的効果  
演劇・芸術祭の社会的・経済的効果の定量分析と地域インパクト、  
舞台芸術の産業構造とファイナンス手法
3. 多文化マネジメント、グローバル経営  
多様な文化バックグラウンドを持つメンバーが集まるチームにおけるマネジメントの  
あり方、リーダーシップのあり方
4. プロジェクト・マネジメント  
システム開発に限らず、新規事業、新商品開発、各種イベント等々、様々な「プロジェ  
クト」の計画・実行に際しての、体制構築、リソース管理、進捗管理、効果測定、  
危機対応等。

## ■ 地域貢献・社会貢献

<RIC事業>

- ・ひょうご観光本部観光・まちづくりセミナー
- ・豊岡市ジュニアプレカレッジ模擬講義

<その他>

- ・UNHCR異文化理解セミナー
- ・豊岡観光イノベーション 公認英語ガイド

## ■ アピールポイント

30年を超える金融機関での実務経験と、18年に及ぶ海外経験。20の国籍からなる200人のチームを率いてきました。事業の財務、定量・定性分析や企業内ダイナミクス、金融経済システムに通じ、特に欧州ビジネス事情・生活事情についての経験が豊富です。

准教授 KAMEUCHI EISAKU  
**瓶内 栄作** e-kameuchi@stdat.at-hyogo.ac.jp



■キーワード 中小企業、事業承継、経営革新、第二創業  
経営診断（中小企業診断士）

## ■教育研究

- ・担当科目：事業創造入門、地域創生実習（2年）、地域イノベーション実習（3年）、地域連携実習（4年）
- ・研究：（2023）「BCPを目的とした拠点分散化が、地域経済に与える影響についての研究」  
芸術文化観光学研究,2号,pp. 87-97.  
（2023）「コロナ・物価高騰下で小規模事業者経営に求められるもの」  
中小商工業研究,157号,pp. 9-16.

・本学委嘱委員：学術情報委員会委員、キャリアサポートセンター委員

### ・専門領域

#### 1. 事業承継

事業承継環境に関する調査研究、親族承継時における、後継者のキャリアを活用した第二創業の実現、公的支援機関でのアドバイザー経験を生かした個社に対する助言、環境変化に対応した、複数選択肢の事業承継計画の策定

#### 2. 中小企業経営、中小企業診断・支援

経営革新等支援機関の経験を生かした、事業計画の策定、中小企業政策の変遷と、政策が対象とする企業類型に対する研究

#### 3. 新規事業創出

既存経営資源を活用した第二創業の実現、事業再構築の方策検討



図1 2023.11.25  
養父市 お仕事体験ワークショップ  
（有限会社オグラ）



図2 2024.3.26  
但馬県民局主催  
スタートアップ・ビジネススクエア2024



図3 東浦ターミナルパーク活性化協議会 座長

## ■地域貢献・社会貢献

兵庫県中小企業家同友会 NT委員（景況調査レポート）、本学 リカレント教育『但馬ストーク・アカデミー』講師  
全国市町村自治研修所「自治体の中小企業支援」講師、武庫川女子大学 起業人材育成講座 講師・メンター  
但馬銀行と本学の共同事業「但馬地域における事業承継に関する実態調査」アドバイザー

## ■アピールポイント

日本中小企業学会 幹事、（一社）兵庫県中小企業診断士協会理事、兵庫県中小企業団体中央会コーディネーター、  
（一社）豊岡コミュニティシネマ監事、東浦ターミナルパーク活性化協議会 座長

講師 SENGA YOSHIFUMI  
千賀 喜史 senga@stdat.at-hyogo.ac.jp



■ キーワード 企業の社会的責任、社会的責任投資、重要業績指標  
Key Performance Indicator、SDGs、ESG、サステナビリティ経営

## ■ 教育研究

・担当科目：事業創造論（2年）、知と表現のデザイン（1年教養ゼミ）、  
組織マネジメント論（3年）、リスクマネジメント論（3年）  
地域イノベーション実習（3年）

・研究：著作 …「ESG活動におけるKPIと管理システムの効果的な組み合わせに関する研究」(図1)等、他論文11編

## ・専門領域

立命館大学卒業後、会社員を継続しながら神戸大学MBAにて修士（専門職）を取得後、神戸大学大学院経営学研究科博士課程に進学し博士号（経営学）を取得。

新卒から自動車部品メーカーに入社し10年間営業に従事。その後、スポーツ用品メーカーにて企業の社会的責任(CSR)の推進、広報宣伝部にてプロモーション業務、事業企画課にてスポーツ用品・スポーツプログラムのマーケティング業務に従事。2018年9月より公立短期大学にて経営学、経済学、ビジネス実務の講師として経験を積み、実務家教員として芸術文化観光専門職大学へ入職。教育職と並行して多数のサステナビリティ推進やPR業務のコンサルティング業務を兼任。



図1 vol.42 第6回 碩学舎賞 一席受賞作  
「ESG活動におけるKPIと管理システムの効果的な組み合わせに関する研究 - 先進企業の事例研究 -」

## 具体的な内容

- 1.企業の環境、社会、ガバナンスを中心とした重要業績指標（KPI）の研究  
企業の定量指標であるKPIを対象に、指標の研究と効果的なマネジメントに必要な要因に関する研究。
- 2.サステナビリティ活動導入に向けたコンサルティング業務  
導入を検討される企業に対して、実務経験を通じた現実的な導入に向けたマネジメント支援等。
- 3.ESG活動を中心とした指標の策定とマネジメント支援  
環境、社会、ガバナンスを中心とした目標設定と、効果的なマネジメントサイクルを回す組織体制の設立の支援等。
- 4.広報・PR支援  
広報宣伝部でのPR業務、CSRの推進業務での経験を通じたPR全般の支援、統合報告書作成支援等。

## ■ 地域貢献・社会貢献

- ・令和元年度おおいだ産学官交流合同シンポジウム（研究発表）
- ・令和2年度広報人材育成研修事業審査委員、令和3年度広報人材育成研修事業審査委員
- ・企業コラボレーションによる製品プロデュース活動多数
- ・令和4年 社会人を対象としたリカレント教育 田島ストーク・アカデミー講師 担当『経営戦略』
- ・令和4年 兵庫県中小企業団体中央会主催「SDGsでつかむ！従業員のやる気とチャンス」ゲスト講師

## ■ アピールポイント「実務と理論に虹色の橋をかける」

- ・10年の営業経験を基本とした現場を巻き込むサステナビリティ活動の支援（顧客は東証一部上場企業様等）。
- ・2度の学術賞を授与（第6回碩学舎賞第一席、環境経営学会平成30年度研究報告大会萌芽研究会 優秀賞）。
- ・科学研究費助成事業2022年度若手研究を採択。創発型のCSR活動を支援するKPIマネジメントの解明
- ・CSRやESGを中心とした社員のモチベーションアップに向けた施策策定や講演が可能。
- ・個人ホームページ <https://senga-lab-net.jimdosite.com/>



個人ホームページQRコード

KOJIMA HIROTOMO

助教

小島 寛大

kojima@stdat.at-hyogo.ac.jp



05

- キーワード 子どもの芸術文化体験、芸術教育、文化政策  
アートマネジメント、ソーシャルビジネス、社会的インパクト

■担当科目

地域創生実習（2年）、地域イノベーション実習（3年）、地域連携実習（4年）

■専門領域、研究

1. 子どもの芸術・文化活動への参加の仕組みづくりと社会的インパクト

地域で子どもたちが文化的活動に参加できる仕組みの構築・運営と地域への影響の評価手法の研究。

2. 文化施設や芸術団体の経営、文化事業の評価

非営利文化組織・団体やアートプロジェクトの事業評価の手法。

3. 学校と地域の音楽教育の歴史、学校教育と楽器産業の関わり

教育楽器や音楽教育サービスの開発と発展の歴史と音楽文化への影響。

■地域貢献・社会貢献など

- ・京都市芸術文化協会「文化芸術特別授業（ようこそアーティスト）」コーディネーター
- ・ロームシアター京都 運営懇談会 委員
- ・子どものための体験型おんがく室「移動おんがく実験室スタジオ☆ムジカ！」代表
- ・アートと本に囲まれた子どものまなび基地「knocks! horikawa」（京都市）協同運営者

<RICプロジェクト（2023年度）>

- ・八代小学校における連続演劇ワークショップ プログラム評価（豊岡市）
- ・「ASAGOing Garden KOUBA」における音楽ワークショップ企画・構成（朝来市）



▲小学校での教員ヒアリング



▲中高生対象の音楽WS

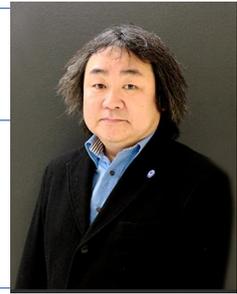


▲knocks! horikawa外観

■アピールポイント

前職ではアートマネージャーとして国際舞台芸術祭や公立のアートセンターや劇場にスタッフとして勤務し、演劇、ダンス、音楽などの実現芸術や、生活文化（華道、茶道など）や美術、写真など様々な分野の公演やワークショップの企画・コーディネートを経験。特に、子どもたちを対象とするプログラムに長年携わり、小中学校や幼稚園・保育園をはじめ、子どもたちの生活に芸術・文化を届ける活動にも積極的に取り組んでいる。これらの現場経験に加えて、準認定ファンドレイザー、認定評価士の資格を取得しており、プロジェクトや組織の中長期的な運営やビジョン形成を支援し、異なる組織の連携や分野を超えた課題解決のための挑戦に伴走できる研究者を目指している。

助手 TSUJIMURA KENICHI  
辻村 謙一 tsujimura@stdat.at-hyogo.ac.jp



## ■ キーワード

マーケティング（地域貢献・地域資源活用・非営利活動等）  
人的ネットワークによる地域資源や人的資源の発掘、ソフト・コンテンツの活用  
および導入 等

## ■ 教育研究

- ・担当科目：観光資源実習、宿泊業実習、地域創生実習、地域イノベーション実習、地域連携実習
- ・研究：著書…「響創する日本型マーケティング」第11章『芸術文化観光専門職大学における臨地実務実習の展開——PALAR視点からのリフレクション』執筆
- ・本学の運営等の担当：実習支援センター委員

## ■ 専門領域

- ・『豊岡市神鍋地域における内発的地域イノベーション・エコシステム — 株式会社Teamsのケーススタディ —』共同執筆  
（日本マーケティング学会カンファレンス2022, 10月16日.）
- ・香美町青年会議所主催「その夢が地域を創る」講師（2022年4月2日）
- ・北近畿地域連携機構市民リエゾンユニット主催「2022年度第1回北近畿高大公連携フューチャーセッション」にて事例発表（2022年11月18日）
- ・福知山公立大学2022地域活性化策コンテスト「田舎力甲子園」審査員（2022年12月11日）
- ・豊岡市商工会青年部日高支部主催セミナー講師「ロマンチストから学ぶ地域活性化企画の極意」（2022年12月14日）
- ・「香美町地域連携事業— 香美町のお米ブランド戦略について —」共同研究
- ・関西学院大学専門職大学院 非常勤講師
- ・福井県立大学大学院 非常勤講師

## ■ 地域貢献・社会貢献

- ・コミュニティ31主催 芸術文化観光専門職大学先生・学生との交流会 12月17日
- ・学生との観光バトン講話@ブックストア・イチ 6月26日
- ・与謝野町総合計画審議会委員



響創する日本型マーケティング2022/03/関西学院大学出版会



2022/12/14  
江原河畔劇場にて実施

## ■ アピールポイント

- 家業の1920年創立のファッション専門学校を承継するも2019年3月を以て法人解散。その後清算人として法人解散手続きを行い（2022年3月完了）、2021年4月より本学に就任。学校の閉校と開学を継続して経験する。
- 2002年3月に行った、阪神・淡路マルチメディア産業交流会による豊岡市の視察訪問を契機として、豊岡市の方々との交流が始まった。2008年にはCIBER (Center for International Business Education and Research) が展開している共同課外授業“Global Business Project (GBP)” の日本での第一回目として、豊岡市宵田商店街（カバンストリート）をフィールドとして行う研究活動に関与した。特に豊岡市が日本に、そして世界に誇る鞆関連の活動関連に興味を持ち、継続的に訪問を繰り返して現在に至っている。
- 宵田商店街—カバンストリートとしての復活— 2011/9 共同執筆
- カバスト春祭り（豊岡カバンストリート&但馬future forum実行委員会主催） 審査委員 2010/3/21
- 一般社団法人日本ロマンチスト協会と日本財団が共同で実施している『恋する灯台プロジェクト』において、『恋する灯台』に選ばれた余部埼灯台（兵庫県美方郡香美町）が立地している兵庫県香美町を「恋する灯台のまち」として認定し、平成28年11月4日に日本ロマンチスト協会兵庫県支部長として町長を表敬訪問 等



◆ お問い合わせ・産学連携申し込み

芸術文化観光専門職大学

・地域リサーチ&イノベーションセンター（RIC）・地域協働課

所在地

〒668-0044 兵庫県豊岡市山王町7-52

電話

0796-34-8123（代表）、34-8162（RICダイヤルイン）

ウェブサイト

<https://www.at-hyogo.jp/>

E mail

cat-hyogo@ofc.u-hyogo.ac.jp

発行責任者 川目 俊哉

担 当 幸木 孝雄

発行日 2024年6月20日



芸術文化観光専門職大学  
Professional College of Arts and Tourism